

栗原市立萩野小学校閉校記念誌

はぎ

01010001





萩野小学校 校歌

大友真一郎 作詞
三浦 正志 作曲

1 2 3 4

ひ かり かが や く た て や ま に

5 6 7 8

ふ ん わ り う い た し ろ く も が

9 10 11 12

よ い こ の ゆ め を よ ん ー で い る

13 14 15 16

さ あ ま な び や の ま ど あ け て

17 18 19 20

み ん な な か よ く は げ も う ー よ

21 22 23 24

あ か る い は ぎ の し ょ う ー が っ こ う

一、光り輝く館山に

ふんわり浮いた白雲が
よい子の夢を呼んでいる
さあまなびやの窓あけて
みんな仲良く励もうよ
明るい 萩野小学校

二、清い有馬のせせらぎに

はつらつおどる若鮎が
よい子に勇気つけている
さあ元氣よく庭ふんで
強いからだをつくろうよ
楽しい 萩野小学校

三、貴船の森の赤松に

かゝる平和のあの虹が
よい子に希望おしえてる
さあ明日の世の日本に
ふた葉のいのち伸ばそうよ
栄ある 萩野小学校

昭和三十四年 制定

目次

あいさつ

栗原市長

栗原市教育委員会

栗原市市議会議員

栗原市市議会議員

栗原市立萩野小学校

栗原市立萩野小学校

栗原市立萩野小学校閉校記念事業
実行委員長

栗原市立萩野小学校閉校記念事業
実行委員長

萩野小学校のあゆみ

寄稿

寄せ書き

思い出のアルバム

あとがき

佐藤

亀井

小岩

三浦

柴山

中村

梁川

晃宏

勇

芳光

孝一

善浩

洋子

雅彦

晃宏

2

3

4

5

6

7

8

9

21

63

72

79



萩野小学校の閉校に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

豊かな水をたたえて流れる有馬川、四季折々に鮮やかな彩りを魅せる山々に囲まれ、旧有壁宿本陣から、JR東北本線、東北新幹線、東北自動車道と、文化財と近代設備が共存する萩野の地で、子どもたちに多くの学びを与えてきた萩野小学校が閉校するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

明治六年に有壁村「観音寺」を仮校舎として有壁小学校として開校以来、百四十一年にわたる長い歴史をもつ萩野小学校は、地域住民の方々の学校教育に対する御理解、御協力のもと、地域の温かな目に見守られ、健全な児童育成の伝統を築き上げてこられました。

恵まれた教育環境の中、学校及びPTAまた児童個人にわたり幅広い分野において多くの優良受賞をされており、多くの優れた人材を世に送り出し、県内外におきまして、広く御活躍されておりますことは、地域皆様の長年にわたる温かい御支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々な御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。さて、長い歴史のある萩野小学校では、地域に開かれた学校を目指し、保護者をはじめ地域の方々の学校教育に対する関心が高く、運動会や学習発表会などにも地域から積極的に参加され、地域と学校との確かな信頼関係を築いてこられました。

こうした環境の中、「人とのかかわりの中で、希望をもって豊かに学び続ける心身ともに健やかな児童を育成する」を教育目標に、縦割り活動や地域住民の皆様との交流、施設を活用しての学習などを積極的にを行うことで、郷土を知り、地域を愛する教育に力を入れ、思いや

りや感謝、尊敬する心を育まれてきました。特に、老人クラブの方々にしめ縄作りの指導をいただいたり、地域の方々をお招きして交流する「萩小っこ感謝祭」の開催により、地域の皆様の御厚情に感謝する気持ちを大切に、同時に地域の一員としての自覚を高めてこられました。

さらに、社会の中でよりよく生きていくための豊かな人間性の育成を目標とした、総合的な学習の時間の充実。中でも「萩野地区、金成地区探検学習」では、より実践的に地域の事柄を学習し、より深く触れ合えたことは、これからの学習における大事な基礎学力の一つであります。

このように歴史と伝統ある萩野小学校が、今日の社会的な問題である少子・高齢化の傾向による児童減少などの背景から、栗原市においても学校の再編が避けられず、本年三月三十一日をもって校史を閉じることとなりましたことは、非常に残念でなりません。これまで萩野小学校を巣立った皆様にとつて、母校の閉校は何事にも耐え難い寂しさであり、また、地域の皆様の愛惜の念も深いものと拝察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ萩野の歴史と伝統が受け継がれていくよう願うものであります。

今後、「学府くりはら」の実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、萩野小学校が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げます。

平成二十六年四月、萩野小学校は沢辺小学校・金成小学校・萩野第二小学校・津久毛小学校と再編し、新生「金成小学校」として、金成中学校とあわせて栗原市で初めての小中一貫教育校として、現在の中学校敷地に建設された新校舎でスタートすることになりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました萩野小学区の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、萩野小学校は、明治六年に観音寺を仮校舎に有壁小学校として創設され、後に上片馬合分教場、下片馬合分教場、末野分教場、藤渡戸分教場が開校いたしました。以降学校制度の改正等により幾度か改称され、昭和二十二年に萩野小学校と改称し、萩野中学校も併設されました。現在の校舎は昭和五十九年に校舎が建て替えられ、同年に、上片馬合分校と統合して新生萩野小学校としてスタートいたしました。

萩野小学校は有壁、片馬合の二つの地区からなり、宮城県北端で岩手県との県境に位置し、国道四号、東北高速道、東北新幹線が縦断し、東北本線有壁駅もあるなど、道路・鉄道とも交通の便に恵まれ古くから交通の要所として位置づけられておりました。これを示すように、地区内には、国指定史跡でもある「旧有壁本陣」、「有壁館跡」、「有壁五輪塔」、「貴船神社」等の名所旧跡も残されており、今もなお営み続ける蔵元萩野酒造があるなど、歴史を感じさせる佇まいを残しております。

校章は、萩野地域に古くから咲き誇る萩の花と、当時の萩野村の名称をモチーフにし、中央に「学」の文字を入れたものとなっております。また、これまで百四十一年間の歴史の中、多くの児童を輩出し、「人とかかわりあいの中で、希望をもって豊かに学び続ける心身ともに健やかな児童の育成」を教育目標に掲げ、館山児童会活動はもちろん、

萩野小学校の閉校に寄せて

野球、陸上、ミニバスケット、水泳などのスポーツ活動もさかんで、特に野球では「萩野小イーグルス」は三十年以上の早くから地域の指導者となって活動されております。また、運動会、学芸会、盆踊り、学校田・学校畑の収穫祭、敬老会、交通安全パレードの鼓笛隊などでも地域と学校のつながりは深く地域と一心同体となっていたものと存じます。

このような中、昭和時代には二百人を数えた児童数も平成には百二十二人となり現在は六十一人となるなど、児童数が著しく減少し、今後も減少傾向が続く現状を踏まえ、また、急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は避けて通ることはできません。歴史と伝統に受け継がれてきた学校が地域から消えるということは、地域の皆様や多くの卒業生にとって、やりきれない寂しさを覚えるのは当然のことと思います。

再編後は、子どもたちも地区の皆様もこれまで脈々と受け継がれてきた萩野小学校の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、新しい伝統を築き上げ、「地域とともに歩む 新しい学校」の創造に向けて取り組んでいくてくれることを信じてやみません。その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員会はじめ関係機関との連携が大切であります。新たに仲間となる沢辺小学校・金成小学校・萩野第二小学校・津久毛小学校の子どもたち、保護者、地域の皆様との交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれる新しい学校を創り上げていただきたいと願っております。

結びに、閉校にあたり、これまで永きにわたり萩野小学校を温かく見守り、支えていただきました地域の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げます。閉校記念誌に寄せる言葉といたします。

栗原市教育委員会

教育長 亀井 芳光



萩野小学校の閉校に寄せて

栗原市議会議員 小岩 孝一

萩野小学校は明治六年の創立から実に百四十一年の長きにわたり、子弟の教育と地域社会の発展に貢献し、輝かしい歴史と伝統を築いてこられました。

これまでご尽力いただきました教職員の皆様、PTAの皆様、そして地域の皆様に対しまして改めて敬意を表するとともに、感謝を申し上げる次第であります。

これまで数多くの子どもたちが、この校舎で学び、学業、スポーツ、文化芸術に充実した日々を過ごされ、巣立って行かれました。

そして、たくさん思い出を胸に全国へと羽ばたき、それぞれの地で精一杯努力し、活躍されておられますことは、既に皆様ご承知の通りであります。

新たな時代を担う子どもたちの未来を考えたとき、学校再編は、子どもたちの幸福を祈念した英断であり、関係皆様に対しまして改めて敬意を表する次第であります。

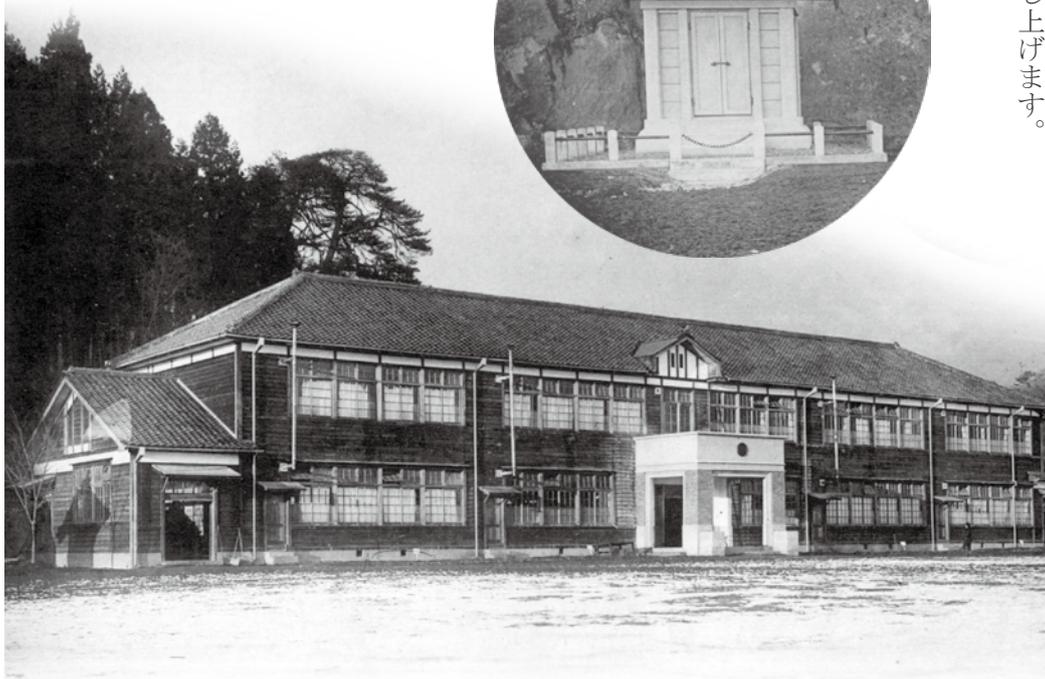
地域の文化拠点がなくなってしまうことは、寂しいことではあります。が、これまでの輝かしい歴史や培われた萩小の伝統は絶えることなく、いつまでも受け継がれていくものと確信しております。

新しい小中一貫教育校という新たな取り組みに向かって、夢と希望をもち、前向きに進んでいく子どもたちを心から応援したいと思えます。そして、これまで先輩方が築いてこられた良き校風、伝統を新しい学校へ引き継いで、金成の新たな校風の礎を築いていただきたいと思います。

最後になりますが、長年にわたる関係皆様のご尽力に重ねて御礼を申し上げますとともに、末永いご健勝、ご多幸、地域の更なるご発展をご祈念申し上げます。



母校全景と奉安殿（昭和9年）



長い歴史と伝統を誇る「萩野小学校」が、その歴史に幕を降ろす時が近づいております。開校から今日に至るまで教育の拠点として、小学生はもとより私たちの地域を育んできた「萩野小学校」がなくなってしまうことは、誠に残念でなりません。しかしながら、少子高齢化というものが、私たちの想像をはるかに超えて急速に進んだ結果、『最近、地域で子供たちの遊ぶ声が聞かれなくなった。』と言われるような現実には直面しております。東日本大震災の影響で一年ほど遅れましたが、平成二十六年四月には金成地区の小学校五校が統合となり、さらには中学校との一貫教育が行われる「金成小中一貫教育校」が開校する予定です。そこからは、新たな歴史のページが始まります。これからの未来を託す人たちが、私たちの子孫が、きつと素晴らしい歴史と伝統を築いてくれるものと信じております。それは、あたかも馬川、金流川、夏川、そして迫川が北上川に合流し、やがては太平洋へと注ぐかのように、それぞれの小学校の持ち味が融和したものになるのだらうと思います。

「萩野小学校」の卒業生の皆様は、現在日本各地、あるいは世界でたいへんなご活躍をされております。開校の明治から大正、昭和、そして平成まで流れる時代の中で、地元をはじめ各方面、各界にあって、まさにリーダー的存在となっている人々の中には、「萩野小学校」の卒業生の方々が多くいらっしゃいます。このように、校風として人材が育つ誇れる学び舎、「萩野小学校」だと思えます。

「萩野小学校」は、卒業生、在校生、教職員の先生方、そしてまた



貴船神社

航空写真

地域の皆様にとりましても、思い出の「宝庫」ではないのでしょうか。これからも、たとえその校舎がなくなっても、永遠に私たち一人一人の心の中に「萩野小学校」の思い出は、刻まれてゆくことでしょう。そしていつまでも、おらほの学校「萩野小学校」として、語り継がれていくことと思えます。

百四十一年間、本当にありがとうございます！ さようなら！ 「萩野小学校」最後に、閉校の準備に携わり、たいへんなご尽力をなされている関係役員の皆様には、敬意を表し衷心より感謝と御礼を申し上げます。

萩野小学校の閉校に思う

栗原市議会議員 三浦 善浩



閉校に寄せて

栗原市立萩野小学校 校長 柴山 洋子

学校のすぐ東側には国指定史跡の有壁本陣が堂々とした構えを見せ、後方の小高い丘には一二〇〇年の歴史をもつ観音寺があります。一時期は坊舎が二十四坊を数える大寺院だったと伝えられています。その石段を下りると本陣がある旧奥州街道に出ます。本陣をはじめ、大きな石垣が残る閑静な佇まいの家々や川面に竹林を映しゆったりと流れる有馬川は、宿場町として栄えた昔を偲ばせます。

さて、本校は明治六年四月に観音寺を仮校舎として創立し、これまでに幾多の学校改変や統合を経て現在に至っています。昭和二十一年には五〇〇人を超えていた児童数ですが、少子化が進行し平成六年からは一〇〇人を下回る状況が続きました。さらに平成二十一年には五十四人にまで減少し複式学級の編成を余儀なくされました。そして、いよいよ今年度は、栗原市の学校再編計画により萩野小学校百四十一年間の長い歴史に幕を下ろすこととなりました。

萩野小学校に奉職して二年になりますが、地域の学校として愛され見守っていただいていることを実感できた日々でした。地域に根ざした伝統的な教育活動が今もしっかりと息づいており、保護者や地域の方々から物心両面でご支援をいただきました。例を挙げれば、交通安全パレード、萩小っ子感謝祭、ふるさと教室など、名称や内容は時代とともに少しずつ変化していますが、どれも三十年以上続けられている活動です。校長室に大切に保管されているアルバムの中には、感謝祭の行事で地域の方々と笑顔で餅つきをしているたくさんの方々の卒業生の姿が残されています。

また、宮城県警察本部や東北管区警察局から感謝状をいただいた鼓笛隊パレードによる交通安全教育活動もたてやま安全安心見守り隊の皆様や地域の皆様のご支援をいただきながら続けられてきた活動です。昭和三十六年に編成された鼓笛隊においては、半世紀以上続けられており、今では先輩から後輩へと引き継がれる伝統的な活動になっています。年々小規模になっていく鼓笛隊ですが、地域の皆様は子どもたちのパレードを毎年楽しみにしており、沿道からたくさんの方々の拍手を送り続けてくださいました。ご家族や地域の皆様の温かい励ましが子どもたちの活動の大きな原動力となってきました。長い歴史の中で培われてきた萩野小学校の伝統は、子どもたちの心の中でずっと生き続けることだと思います。新生金成小学校に行っても萩野小学校で学んだことを土台として、大きな集団の中でさらに自分を磨き、心身ともにたくましく成長することを願っております。

最後になりますが、閉校にあたりご尽力を賜りました市当局の皆様、熱心に本事業の任にあたられました閉校記念事業実行委員会の皆様はじめ保護者・地域の皆様から感謝とお礼を申し上げます。閉校のあいさついたします。



古くから歴史のあるここ有壁宿場町の地に、多くの子供たちと地域の皆さまと共に歩んできた萩野小学校が百四十一年の歴史に幕を閉じることになりました。

小学校の建物の様相は、それぞれの時代や情勢に応じて様変わりを重ねて来ましたが、どの時代においても、多くの子供たちがこの学び舎で勉学に励み、共に元氣よく遊び、時には泣き、笑い、色々な思い出を胸に巣立って行きました。

これまでの卒業生が積み重ね創ってきた伝統は、その子供たち、そしてまたその子供たちと繰り返しながら、今も立派に受け継がれており、長い歴史の育み、尊さを実感すると共に、歴代の校長先生をはじめ、数多くの先生方の懸命な指導と、地域の皆さまによる手厚い支援により今日に至るものと感じています。

平成二十六年からは、新たに金成地区の五つの小学校と金成中学校が一つとなり、金成小中一貫教育校に生まれ変わります。

我が学び舎の閉校、そして地元地域から小学校が無くなってしまふことに対し、非常に寂しく、残念な思いではありませんが、近年の児童数の減少により、少人数での団体活動や勉学・スポーツにおける競争相手の少なさを直に見たときに、逆に可愛そうな想いがありました。五つの小学校それぞれの歴史と伝統を育んできた子供たちが、一つの学び舎に一堂に会し、お互いに切磋琢磨しながら協調性を養うことで、より一層成長することが楽しみでなりません。

私たち保護者においても、新しい環境に慌てず焦らずゆつくりと子

閉校に寄せて

萩野小学校父母教師会会長 中村 雅彦

鼓笛隊パレードと有壁本陣



供たちを見守りながら、一緒に交流を広げていただければと考えます。萩野小学校の良き伝統と思い出、すばらしき地域文化、「萩小っこ」であることの誇りを胸に、子供たち児童をはじめ、保護者と地域の皆さまが一致団結して新しい小中学校の歴史と伝統創りに共に歩んで行けることを切に望みます。



萩野小学校の閉校に寄せて

実行委員長 梁川 晃宏

明治六年、有壁村観音寺に有壁小学校として開校以来、幾多の変遷を経て今日まで長年に渡り地域の中核的存在であった萩野小学校も、移り変わる大きな時代の流れの中で百四十一年の歴史に幕を下ろすことになりました。

まず、一般の萩野小学校閉校記念事業を進めるにあたっては、事業の三本柱である感謝の会開催、記念碑建立、記念誌発行の準備作業、そしてこれら事業に掛かる基金の拠出と、地域皆様方には多大なるご協力を頂きましたこと深く感謝申し上げます。各事業を見るに、お蔭様で一世紀半という長い歴史にふさわしい、区切りを設けることが出来たと思っております。

さて、今回閉校事業の準備を進めていく中で、学校に保存されている明治時代からの写真を見せて頂くことが出来ました。先生方、生徒さんの姿や服装、校舎などの背景から時代ごとの様子がうかがえます。印象的だったのは、写る生徒さんの数が少ないように見える集合写真が有った事、太平洋戦争中の写真が見当たらなかった事です。

明治、大正、昭和の激動の時代、子どもを学校に通わせる事が難しい時代もあったと聞きます。長い歴史の中で子どもが当たり前に学校に通える時代の方がむしろ短かったかもしれません。

私が小学校に通った時代はというと、幸い世の中は経済的成長を続け、小学六年生の時には現在の鉄筋コンクリート校舎が落成し、もしかすると、子どもの数が減ることなど考えられなかったかもしれません。それから三十年経った現在でも、多少将来に不安を抱えている

とはいえ、史上最も高い生活水準を享受していると言えるでしょう。生徒数は当時と比べれば大きく減っていますが、ここ数年だけを見ると横ばいもしくは微増を続けており、今本当に学校を閉じなければならぬのか、支えることは出来ないものなのか、いまだに諦め切れないうちのお言葉を頂きます。確かに、往時とは比べようも無い社会基盤の下、小学校一つくらい残しても支えきえることは出来たのかもしれませんが。

しかし、学校再編、こと小中一貫教育校の設立は、時代の趨勢に対しての後手の対応ではなく、子どもたちにとって高い教育環境を整備し得る、好機と捉えることもできます。

萩野小学校は一旦閉じますが、五つの小学校と一つの中学校の良さを受け継ぐという、史上に無い新しい枠組みの中で、主役である子どもたちが、心身ともに健やかに成長されるよう、取り組んでいきたいと思えます。



明治神官遥拝式記念撮影（大正9年）



萩野小学校のあゆみ

萩野小学校の概要	10
萩野小学校の沿革	12
萩野小学校の変革	16
児童数の推移	17
歴代校長	18
歴代父母教師会長	20



地域の概要

本地域は県の北端、岩手県境に位置し、北は一関市に隣接している。

地域内は国道四号線が南北に走り、それを挟んで西側に上片馬合、下片馬合、大沢田、東側に上原前、新町、本町、下在の七つの学区で構成されている。

地区内は国道四号、東北縦貫道、東北本線、東北新幹線と、道路・鉄道とも並行して走り、交通の便に恵まれている。



歴史とロマンの町・金成（旧金成町）の名のとおり、旧有壁本陣（国指定史跡）や有壁五輪塔、貴船神社等の史跡がある。
地域の主産業は農業であるが、山地が多く耕地が少なく兼業農家が多い。買物も含め一関経済圏に入っている。

旧有壁本陣（国指定史跡）



有壁地区の史跡と子どもたち

貴船神社



有壁五輪塔



校名と校章の由来

昔、この地域は「萩の花」が咲きほこる地域であった。

校名は、萩野村の地名より萩野小学校と命名し、中央に学びの「学」、その下に萩野の旧漢字、校名のまわりに萩の「葉と花」をあしらっている。



学校のようす

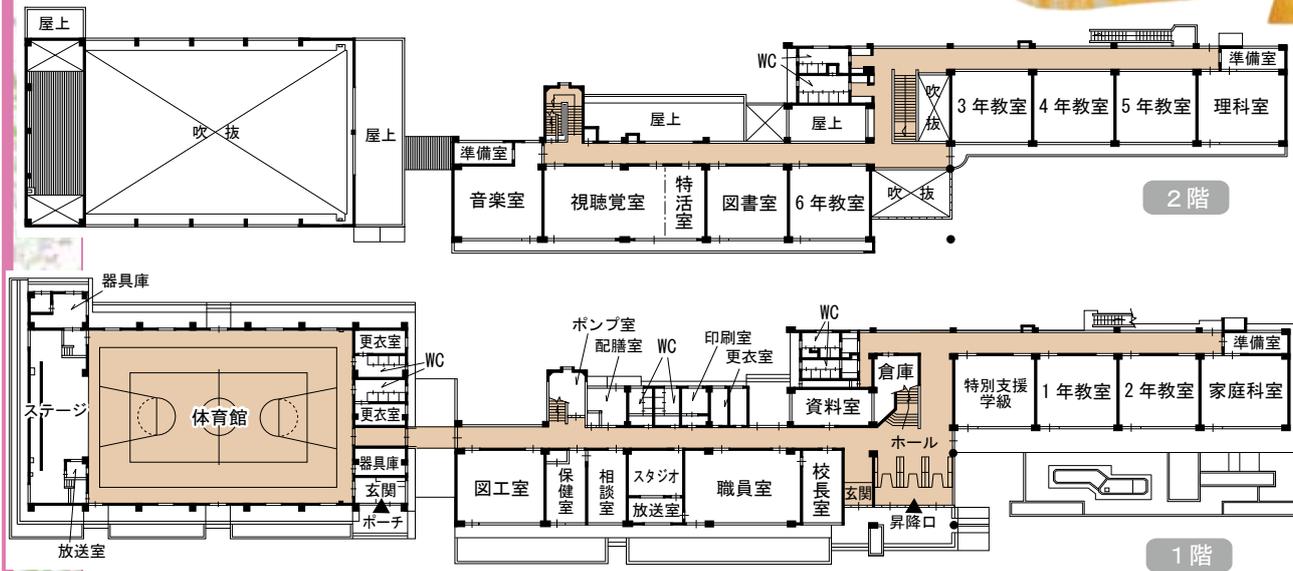
施設概要

所在地	栗原市金成有壁館下6 1番地1			
敷地面積	14,974.52 m ² (4,529.77 坪)			
建築面積	1,893.14 m ² (572.67 坪)			
総床面積	2,662.92 m ² (805.53 坪)			

	1階	2階	PH階	計 (m ²)
校舎棟	1,050.98	893.81	9.80	1,954.59
体育館	698.33	—	—	698.33
渡廊下	10.00	—	—	10.00
計	1,759.31	893.81	9.80	2,662.92



校舎配置図





年号		明治		大正																昭和																					
年	月	6	8	17	18	20	21	23	24	25	32	33	34	35	41	44	45	4	5	10	11	12	3	5	7	10	12	16													
年	月	4	2	4	11	4	4	8	4	10			8	4	3	1	1	10		3				4	7																
主な出来事		有壁小学校創立（観音寺を仮校舎とする）		有壁小学校校舎新築		有壁初等小学校と改称		有馬中等小学校と改称し、三分教場を置く ア、上片馬合分教場 イ、末野分教場 ウ、藤渡戸分教場		有馬中等小学校を有馬尋常小学校と改称し末野、藤渡戸両分教場を分離する		有馬尋常小学校を萩野尋常小学校と改称		上片馬合分教場閉鎖し下片馬合分教場を開校する		上片馬合分教場再び開校する		萩野尋常小学校を有馬尋常小学校と改称し補習科（修業年限三年）を併設する		上片馬合分教場が有馬尋常小学校上片馬合出張所となる		有馬尋常小学校に補習科を付設する		有馬尋常小学校に農業補習学校を附設する		上片馬合出張所を上片馬合分教場と改称		有馬尋常小学校補習科を廃止し、高等科を併置して有馬尋常高等小学校と改称		有馬尋常高等小学校を萩野尋常高等小学校と改称 下片馬合分教場閉鎖 バルコニー付校舎新築		国民学校令施行により萩野国民学校と改称 同じく萩野国民学校上片馬合分教場となる									
		初	庄司 和一	3	古川 吉治	2	千田 吉治	4	梅森 慶之進	5	竹内 茂吉	6	横田 信	7	吉田 二郎	8	滝口 清舂	9	上郡山 徳治	10	佐藤 吉男	11	三浦 永四郎	12	狩野 齡治	13	阿部 倉之助	14	佐藤 民助	15	高橋 比登志	16	菅原 泰顕	17	中村 林兵衛	18	佐々木 岩尾	19	高橋 理一郎	20	遊佐 兼彦
歴代校長		歴代 P T A 会長		児童数		男子		女子		卒業式（大正 2 年）		学級数																													
														バルコニー付校舎新築（昭和 7 年 9 月 30 日竣工）																											

学級数の○の数字は分教場、特殊学級の数を表示

年号	年	月	主な出来事																											歴代校長	歴代PTA会長	児童数	男子	女子	学級数
昭和	18	3	上片馬合分教場一〜四学年編成となり、五・六学年は本校に收容する																											遊佐 運義					
昭和	19		昭和二十二年（一九四七）、教育の重要法案が制定され新教育が発足する。国民学校は小学校となり、国民学校高等科、中等学校、青年学校は三年制の中学校となる。																																
	22	4	萩野村立萩野小学校と改称 ※萩野村立萩野中学校を併設する																											佐藤 覺彌	初	358	178	180	7
	22	5	父母教師会結成 ※萩野中学校校舎新築移転（片馬合）																												阿部 茂治				7
	23																														阿部 倉之助	339	165	174	7
	24																														佐藤 一男	336	152	184	8
	25																															325	157	173	8
	26																															325	152	168	7
	27																															313	154	168	7
	28	11	萩野公民館兼小学校屋内運動場新築																											熊谷 明夫		313	155	159	7
	29	7	雨雪量測候開始（東北建設局依頼）																													328	176	152	8
昭和三十年（一九五五）	30	1	金成町立萩野小学校と改称（統廃合は行わないで校舎は現在地に存置する）																											中森 直		326	176	150	7
	31	4	校庭拡張工事・簡易水道敷設工事完了																											武田 勝美		325	181		7
	32	11	分教場職員住宅新築																											三浦 正志		325	172	144	9
	33		校歌制定																											南條 由吉		341	175	166	10
	34	9	清掃（昭和30年代）																											氏家 正一		345	172	173	10
	35		音楽研究会（昭和36年）																											熊谷 輝雄		341	172	162	10
	36		有壁駅前通り																											熊谷 輝雄		341	172	162	10
	37																													熊谷 輝雄		341	172	162	10
	38																													熊谷 輝雄		341	172	162	10
	39																													熊谷 輝雄		341	172	162	10
	40																													熊谷 輝雄		341	172	162	10
	41																													熊谷 輝雄		341	172	162	10
	42																													熊谷 輝雄		341	172	162	10
	43																													熊谷 輝雄		341	172	162	10
	44	10	上片馬合分教場米飯給食始まる																											佐藤 美吉		341	172	162	10
	45	11	「学校図書館教育」研究指定公開																											佐藤 要幸		341	172	162	10
	46	7	プール竣工																											大場 敬市		341	172	162	10
	47																													須藤 正夫	佐藤 雄吉郎	170	89	81	8

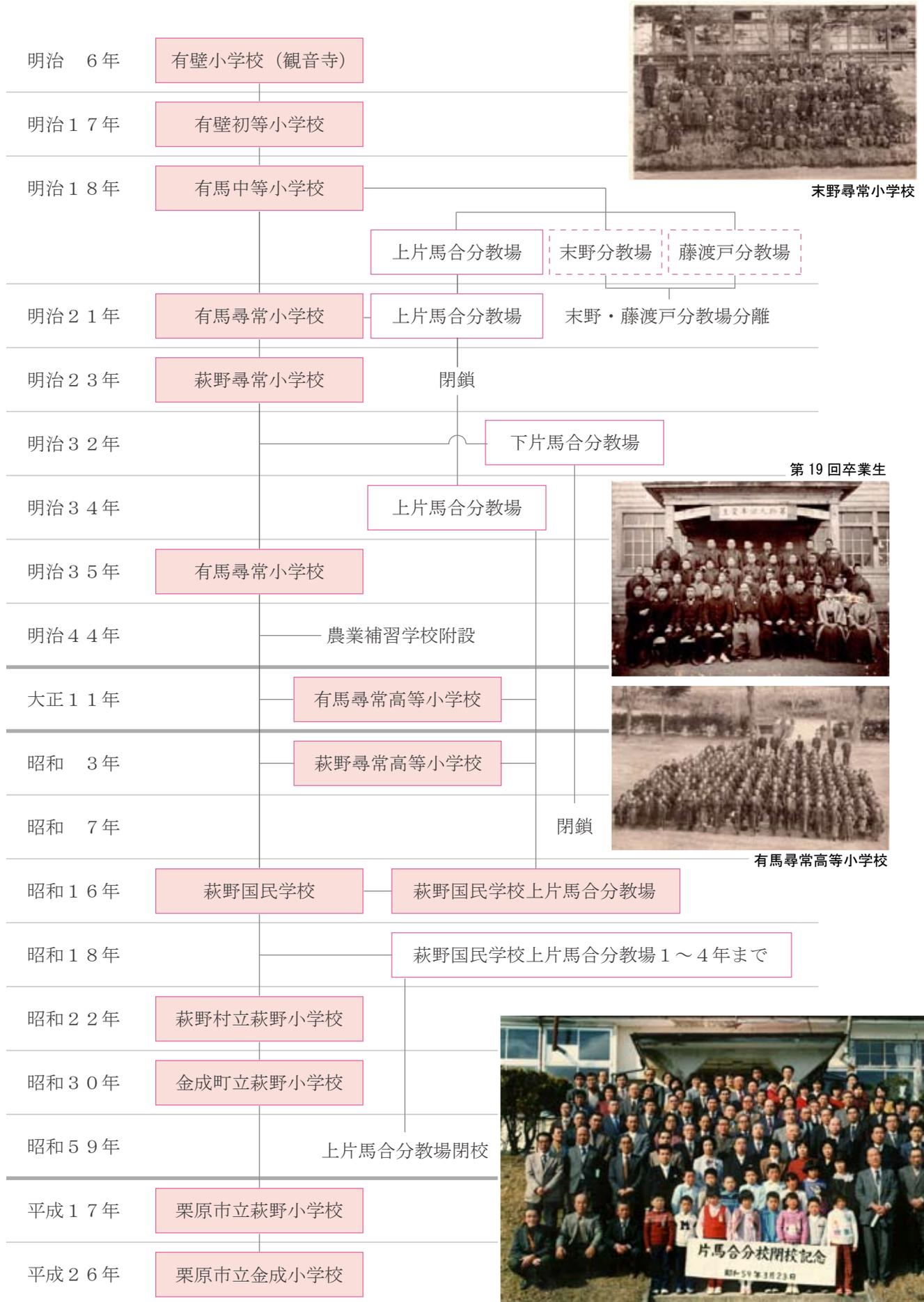
年号														平成																	
年	26	25	24	23		22		21	20	19		18	17	16	15	14		13	12												
月	3	10	8	4	7	4	3	9		4	2	4		10	9	9	6	4	9	4	9	9	3	9	8	1	10	9	3	11	9
主な出来事	萩野小学校開校記念式典																			「よい歯の学校」表彰（県学校歯科医会）											
	会場・事務局校																			赤十字社研究協力校として表彰される											
	第二十二回宮城県小学校生活科・総合的な学習教育研究大会栗原大会																			萩野小学校学区民より新校旗贈呈											
	福島第一原発事故に係る放射線除染作業（校庭・校舎周辺）																			「よい歯の学校」表彰											
	閉校記念事業実行委員会の設立																			宮城県警察本部長より「交通安全教育活動」に対して感謝状を受ける											
	東日本大震災に係る体育館通路支柱工事																			学校給食に伴う施設等の工事完了											
	学力向上サポートプログラム事業（国語）県教委指定																			「よい歯の学校」表彰											
	東日本大震災（駐車場付近陥没。体育館通路亀裂）																			地域イントラネット基盤施設設備工事完了											
	情報教育施設・設備の拡充地デジ対応TV十二台設置																			「よい歯の学校」表彰											
	第三・四学年が複式学級																			ファンヒーター新規取替工事 「よい歯の学校」表彰											
	東北管区警察局長・東北交通安全協会会長より交通安全優良学校として表彰																			町村合併に伴い、栗原市立萩野小学校と改称											
	トイレ水洗化工事完了																			「よい歯の学校」表彰											
	第四・五学年が複式学級 「外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究校」の文部科学省の指定																			「よい歯の学校」表彰											
	豊かな体験活動推進校指定、愛鳥モデル校指定																			豊かな体験活動推進校指定、愛鳥モデル校指定											
	館山安全安心見守り隊発足 隊員数五十五名																			「よい歯の学校」表彰											
	「よい歯の学校」表彰																			「よい歯の学校」表彰											
	「よい歯の学校」表彰																			「よい歯の学校」表彰											
	歴代校長																				<p>交通安全パレード（平成14年）</p>										
																						高橋 清									
																			千葉 龍正												
歴代PTA会長																				千葉 龍正											
																				千葉 義信											
																				高橋 清											
児童数																				48											
																				47											
男子																				46											
																				45											
女子																				46											
																				45											
学級数																				46											
																				45											
男子																				46											
																				45											
女子																				46											
																				45											
学級数																				46											
																				45											



「よい歯の学校」表彰



交通安全パレード（平成14年）



末野尋常小学校



第 19 回卒業生

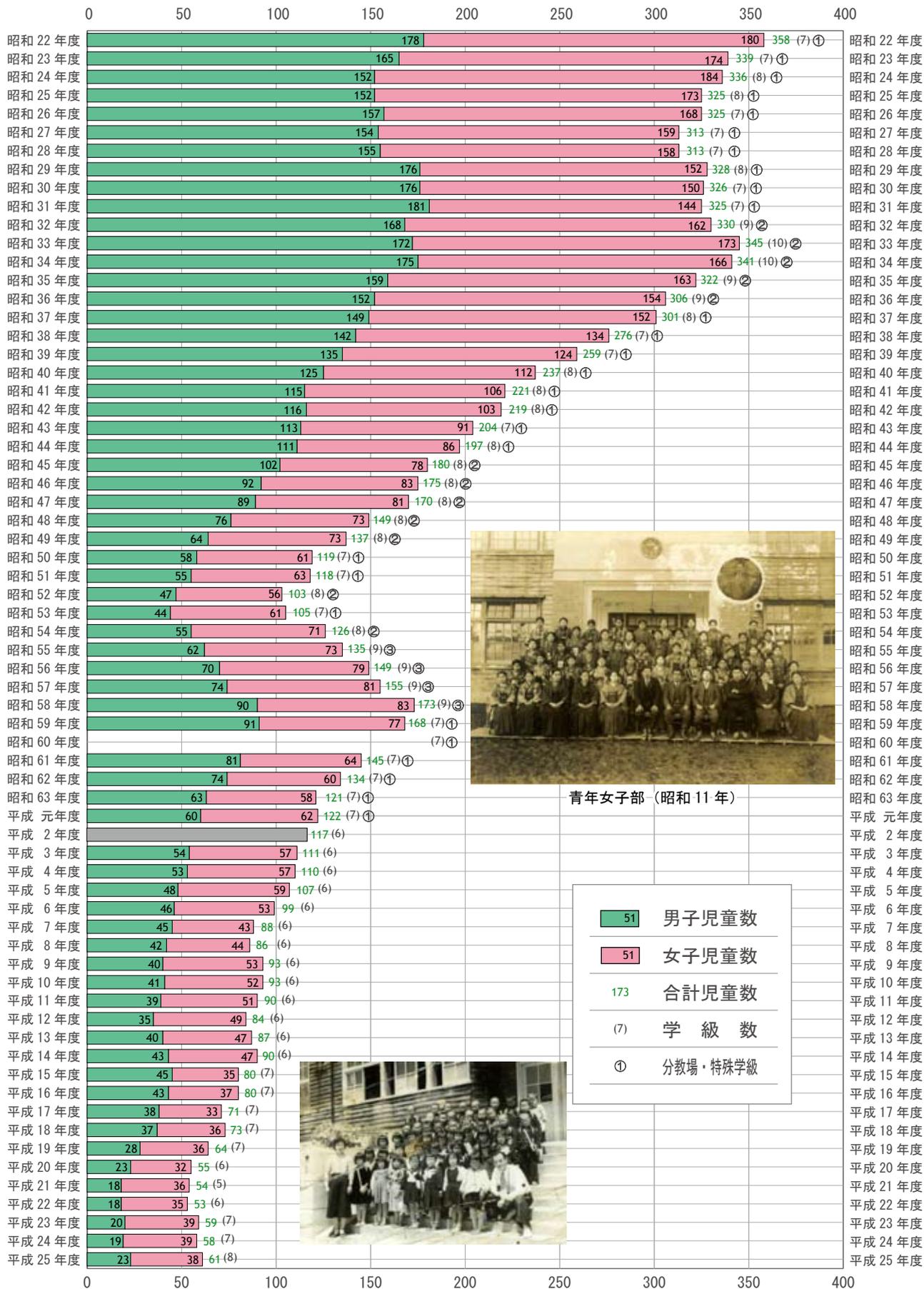


有馬尋常高等小学校



片馬合分校閉校記念 (昭和 59 年 3 月 23 日)

児童数の推移



青年女子部（昭和11年）



51	男子児童数
51	女子児童数
173	合計児童数
(7)	学級数
①	分教場・特殊学級

※資料 「萩野小学校沿革の概要」より作成
 (昭和60年度 児童数データ不明 平成2年度 男女別データ不明)



- 初代 庄司 和一 校長 明治六年度～明治一六年度
- 第二代 千田 吉治 校長 明治一七年度
- 第三代 古川 宇作 校長 明治一八年度～明治二〇年度
- 第四代 梅森慶之進 校長 明治二一年度～明治二二年度
- 第五代 竹内 茂吉 校長 明治二三年度
- 第六代 横田 信 校長 明治二四年度
- 第七代 吉田 二郎 校長 明治二五年度～明治三一年度
- 第八代 瀧口 清躰 校長 明治三二年度
- 第九代 上郡山徳治 校長 明治三三年度
- 第一〇代 佐藤 吉男 校長 明治三四年度
- 第一一代 三浦永四郎 校長 明治三五年度～明治四〇年度
- 第二二代 狩野 齡治 校長 明治四一年度～明治四四年度
- 第一三代 阿部倉之助 校長 明治四五年度～大正四年度
- 第一四代 佐藤 民助 校長 大正五年度～大正九年度
- 第一五代 高橋比登志 校長 大正一〇年度～大正一一年度
- 第一六代 菅原 泰顕 校長 大正一二年度～昭和二年度
- 第一七代 中村林兵衛 校長 昭和三年度～昭和六年度
- 第一八代 佐々木岩尾 校長 昭和七年度～昭和九年度
- 第一九代 高橋理一郎 校長 昭和一〇年度～昭和一一年度
- 第二〇代 遊佐 兼彦 校長 昭和一二年度～昭和一五年度
- 第二一代 菅原忠三郎 校長 昭和一六年度～昭和一八年度
- 第二二代 遊佐 運義 校長 昭和一九年度～昭和二一年度
- 第二三代 佐藤 覚弥 校長 昭和二二年度～昭和二七年度
- 第二四代 熊谷 明夫 校長 昭和二八年度～昭和三〇年度





歴代校長



第四八代	柴山 洋子 校長	平成二四年度～平成二五年度
第四七代	千葉 義信 校長	平成二二年度～平成二三年度
第四六代	千葉 龍正 校長	平成一九年度～平成二一年度
第四五代	高橋 清 校長	平成一五年度～平成一八年度
第四四代	佐藤 好勇 校長	平成一二年度～平成一四年度
第四三代	千田 節夫 校長	平成一〇年度～平成一一年度
第四二代	千田 茂男 校長	平成八年度～平成九年度
第四一代	佐藤 康夫 校長	平成六年度～平成七年度
第四〇代	佐藤 敬夫 校長	平成三年度～平成五年度
第三九代	尾形 淳一 校長	平成二年度
第三八代	高橋 禮伍 校長	昭和六二年度～平成元年度
第三七代	鈴木 薫 校長	昭和六〇年度～昭和六一年度
第三六代	佐藤 恒之 校長	昭和五六年度～昭和五九年度
第三五代	小松俊一郎 校長	昭和五四年度～昭和五五年度
第三四代	金原菊三郎 校長	昭和五一年度～昭和五三年度
第三三代	小野寺昭一 校長	昭和四九年度～昭和五〇年度
第三二代	須藤 正夫 校長	昭和四七年度～昭和四八年度
第三一代	田郷 剛 校長	昭和四五年度～昭和四六年度
第三〇代	南條 由吉 校長	昭和四一年度～昭和四四年度
第二九代	氏家 正一 校長	昭和四一年度
第二八代	熊谷 輝雄 校長	昭和三九年度～昭和四〇年度
第二七代	三浦 正志 校長	昭和三六年度～昭和三八年度
第二六代	武田 勝美 校長	昭和三三年度～昭和三五年度
第二五代	中森 直 校長	昭和三一年度～昭和三二年度



初代	阿部 茂治 会長	昭和二二年度～昭和二三年度
第二代	阿部倉之助 会長	昭和二四年度～昭和二五年度
第三代	佐藤 一男 会長	昭和二六年度～昭和四〇年度
第四代	佐藤 美吉 会長	昭和四一年度～昭和四二年度
第五代	佐藤 要幸 会長	昭和四三年度～昭和四四年度
第六代	大場 敬市 会長	昭和四五年度～昭和四六年度
第七代	佐藤雄吉郎 会長	昭和四七年度～昭和四九年度
第八代	鈴木市太郎 会長	昭和五〇年度～昭和五三年度
第九代	菅原 捷征 会長	昭和五四年度～昭和五六年度
第一〇代	小野寺幸治 会長	昭和五七年度～昭和五八年度
第一一代	三浦 良和 会長	昭和五九年度
第二二代	菅原 啓悦 会長	昭和六〇年度～昭和六二年度
第一三代	佐藤 幸義 会長	昭和六三年度～平成元年度
第一四代	阿部 隆 会長	平成二二年度～平成三三年度
第一五代	佐藤 有一 会長	平成四四年度～平成五五年度
第一六代	稲邊 祐一 会長	平成六六年度～平成七七年度
第一七代	小野寺伸由 会長	平成八八年度～平成一〇年度
第一八代	菅原 幸治 会長	平成一一年度～平成一三年度
第一九代	菅原 勝夫 会長	平成一三年度～平成一四年度
第二〇代	原田 広良 会長	平成一五年度～平成一六年度
第二一代	山田 彰 会長	平成一七年度～平成一八年度
第二二代	佐藤 健彦 会長	平成一九年度
第二三代	小野寺徳彦 会長	平成二〇年度～平成二二年度
第二四代	梁川 晃浩 会長	平成二二年度～平成二四年度
第二五代	中村 雅彦 会長	平成二五年度



寄稿
 恩師の方々

第四十六代校長	千葉 龍正	(平成十九年度～平成二十一年度)	22
第四十七代校長	千葉 義信	(平成二十二年度～平成二十三年度)	23
教頭	鈴木 安子	(平成十四年度～平成十五年度)	24
教頭	遊佐 典義	(平成十六年度～平成 年度)	25
教頭	西村耕太郎	(平成十八年度～平成十九年度)	26
教務主任	小野寺八重子	(平成十二年度～平成十六年度)	27
教務主任	阿部 良則	(平成十七年度～平成二十二年度)	28
教諭	千葉 宏	(昭和二十二年度～昭和二十八年年度)	28
教諭	及川 力男	(昭和三十四年度～昭和四十二年年度)	29
教諭	菅原 昭一	(昭和三十九年度～昭和四十五年年度)	30
教諭	木村 和彦	(昭和四十六年度～昭和 年度)	30
教諭	木村タケ子	(昭和四十六年度～昭和 年度)	30
教諭	千葉 功	(昭和五十六年度～昭和六十一年度)	32
教諭	木村 秀典	(昭和五十七年度～昭和 年度)	32
教諭	高橋 悦子	(昭和五十七年度～昭和六十一年度)	34
教諭	鷹觜りつこ	(昭和五十九年度～昭和 年度)	34
教諭	伊東 悌二	(昭和六十年年度 ～昭和六十一年度)	35
教諭	横山 剛	(昭和六十年年度 ～平成四年年度)	36
教諭	阿部 陽介	(昭和六十二年年度～平成四年年度)	37
教諭	横山 郁子	(平成五年度～平成十年年度)	38
教諭	菅原 逸子	(平成五年度～平成 年度)	38
教諭	中村 庄樹	(平成十一年度～平成十八年度)	39
教諭	氏家 伸	(平成十一年度～平成十四年度)	40
養護教諭	宮澤喜久美	(平成十三年度～平成二十年度)	40
教諭	高橋 聡子	(平成十五年度～平成二十一年度)	41
教諭	中村ルミ子	(平成十六年度～平成二十三年度)	42



萩野小は忘れられない

第四十六代校長 千葉 龍正

萩野小学校から離れて早くも四年目を迎えました。皆様お変わりなく過ごされていることと存じます。いや、地域の拠り所というべき小学校がいよいよ閉校するという事です。小から小への変化の中にあるというべきで「お変わり」は撤回しなければ…。

仙台市の東宮城野小学校に転勤し、そこで三年間お世話になり今年三月定年退職いたしました。萩野小を去って一年目を終わろうとする三月十一日あの東日本大震災が発生しました。そして大変な被害を受けた同市内の荒浜小学校が寄宿することになり、一つ屋根の下に二つの学校がそれぞれに存立するという環境に置かれました。それが今年度で三年目を迎えています。震災の復興が叫ばれる中、このような状態が解消されて初めて復興の歩みが肌を感じるのではないかと思います。最後にお世話になった学校のことを先になつてしまいました。萩野小も学区地域も大変だったのではなかったでしょうか。

さてこの度、萩野小学校が閉校になるということで、来るべき日は来るのだなという感を強くしました。金成地区の学校再編については、お世話になったときから知らされそのことはいつも片隅に残り、消えることはありませんでした。わたしは平成十九、二十、二十一年の三年間、明るく元気で素直な子どもたちと楽しく過ごさせていただきました。赴任し、子どもたちも、お父さん、お母さん方もよくまとまって、それに地域の皆様方も加えて「歴史ある地域に誇りを持ち、学校を大切にしているところだなあ」という印象を強く受け、うれしくなりました。

一年目の春の運動会は「やりましょう」と決めたそばから降雨となり体育館に余儀なく移動。雨天プロはしっかりしていたとはいえ忘れ

られない思い出になっています。三回行った盛岡方面への修学旅行もその一つです。高倉健さん主演の映画「手紙」を観ていましたら田中裕子さんの歌う曲に聞き覚え。そうだ、修学旅行のたびごとにバスガイドさんが子どもたちに教えていた宮沢賢治のアンドロメダのあの歌だと気づき、その時々が懐かしく思い出されました。

もちろん懐かしい、楽しい思い出ばかりではありません。当時の同僚先生方を振り返ると、一年生の担任だった先生がお亡くなりになったのは深い悲しみでした。先生の笑顔は忘れることはできません。

こうして思い出すと萩野小時代は楽しく、そして充実していました。まだまだいっぱいあるのですが、紙幅に限りがあります。年を重ねても、いろいろな方から学ぶことばかりです。わたしなどは特にその向きが強く、いつも恩を返すことができません。この場をお借りし、あらためて皆様に感謝申し上げます。『萩野小学校のますますのご発展を』というわけにはいきませんが、確実にわたしたちは、未来に生きるものです。その未来を切り拓いていく姿勢、態度は、長い歴史と伝統を有する萩野小学校の建学精神から学んできているのではないのでしょうか。皆様のご発展を祈念いたします。



盛岡方面への修学旅行（平成21年度）
千葉 龍正校長先生と児童たち



卒業記念（平成23年度）
千葉 義信校長先生と卒業生



明るい 楽しい

栄ある

萩野小学校

第四十七代校長 千葉 義信

みんな仲良く励み、強いからだをつくり、ふた葉のいのちを伸ばしてきた「明るい 楽しい 栄ある」萩野小学校が、百四十一年の歴史にピリオドを打つことは大変残念でさびしいことです。

「よい子の夢を呼んでいる 光り輝く館山に ふんわり浮いた白雲」

「よい子に勇気つけている 清い有馬のせせらぎに はつらつおどる若鮎」

「よい子に希望おしえてる 貴船の森の赤松に かかる平和のあの虹」

「ふんわり浮いた白雲」は子どもたちを温かく見守っていたたく地域の皆様方、「はつらつおどる若鮎」は子どもたちの背中を優しく押してくれる保護者の皆様方、そして「かかる平和のあの虹」は子どもたちを明るく未来へと導く先生方と考えることができます。（校歌の歌詞を一部引用）

萩野地区は、地域・家庭・学校が一体となって子どもたちを育てていこうという考えが共有されており、その体制がしっかり整備されている地区であります。まさに、「子どもは地域の宝である」ことを共通認識とし、すべての子どもたちに優しい声をかけ、温かく見守っています。萩野地区は人情味に溢れたとてもすばらしいところですが、その中にいるとそのよさに気づかないことがあります。一歩外に出てみると改めて萩野地区のよさ・すばらしさがよく分かります。ぜひ、この幸せを子どもたちには実感として感じてほしい、地域の方々に感謝してほしいと思います。萩野小学校が閉校になっても、地区一体となって取り組む姿勢は大切に守ってほしいと切に願います。

私は、平成二十二・二十三年度の二年間、萩野小学校に勤務させていただきました。この二年間にいろいろなことがありましたが、東日本大震災は忘れられない出来事です。ありがたいことに、家族の方々、地域の方々、先生方のお陰で、子どもたちの安全を守ることができま

した。大変な思いをして過ごした長い春休みを終え、再開した学校に登校してきた子どもたちの表情は、不安を抱えながらも笑顔に輝いていました。そのときの子どもたちは、学校に通える喜び、勉強できる楽しさを感じ取っていたはずですが、そのときの気持ちをいつまでも忘れないでほしいと願っています。

また、萩野小学校には心やさしい先生方がそろっていました。子どもたち・保護者の方々を包み込む優しさ・温かさがありましたし、地域の方々とのつながりも強く信頼もされていました。すべての先生方が、閉校までこの子どもたちと一緒にいたいという思いを強くもっていました。それが、新しい先生方や若い先生方を受け入れる優しさにもつながっていました。この学校だからこそ、この先生方がいるからこそ、みんなが安心して勤めることができるのだということを強く感じたことが数多くありました。心やさしい先生方のこれからの活躍を願っています。

さらには、萩野小学校のPTA活動や金成地区小中学校再編準備委員会の児童生徒活動部会の運営に関わる中で、萩野地区は人材が豊富で、優秀な方々が数多くいらっしやることに身をもって気づかされました。その意味でも、金成小中一貫教育校の初代PTA会長は、ぜひ萩野地区から選出していただきたいと、前々から大いなる期待を込めて願っています。

最後になりますが、閉校記念事業実行委員会の設立につきましては、行政区長さん方に不快な思いをさせてしまい大変申し訳なく思っております。悪気は全くありませんでした。むしろ、PTA会長を始め役員の方々、そして私を始め学校の教職員は、区長さん方に遠慮をしていたので、区長さん方に閉校事業のご苦勞を、ご迷惑をおかけしているのだろうか、という思いが強かったです。そのことだけは、理解していただければ幸いです。

皆様方の心にもいつまでも残る、記念すべき閉校事業になりますことをご祈念申し上げます。



あんた誰？

(本当に教頭すか?)

教頭 鈴木 安子

ある春の穏やかな日。

かわいい女の子が、外から職員室の窓に顔をびったりくっつけ、中の様子をじっと見ています。仕事の手を休めて、ふと窓の方に目をやると、女の子が中の様子をうかがっているではありませんか？

すると、女の子は大人の視線に気がついたのか、たちまちいなくなっていました。

その後、外へ出かける用事があったので、校庭へ出ると、一人の女の子が歩いて来ました。私の顔を見たり、「あんた誰？」と言って、不思議そうにして私の顔を見ていました。(あつ、あの女の子だ！)

その日は、四月一日だったので、始業式、入学式前で名乗ることはできず、つい「誰でしょうね？」と笑ってごまかしてしまいました。平成十四年四月一日のことでした。

それから二年間、萩野小学校の教頭として勤務させていただきました。頼りない教頭でしたが、明るく素直な子どもたち、指導力のある先生方、温かい保護者・地域の皆様に支えられ、充実した二年間を過ごすことができました。今でも心の中に楽しい思い出がいっぱいつまっています。

何事にも真剣に取り組む子どもたち。学力も高く、水泳や陸上運動等も抜群の成績を上げ、文武両道の「萩小っ子」の実力を発揮していました。また、地域のスポーツ活動も盛んで、私は一人として「萩野イーグルス」の追っかけをしていました。一



萩野イーグルス 金成信金杯優勝(平成13年度)

つのボールを子どもたちとともに見つめ、心をドキドキ・ワクワクさせたことが今でも忘れることができませぬ。保護者の皆様の熱い思いは、尋常ではないと思わせるほどのものでした。常にすばらしい成果を上げ、我がことのようにうれしく誇りに思いました。

さて、河南町立須江小から栗原市内に戻り、萩野小は教頭として二校目の経験でした。まず、着任早々環境整備から始めようと思い、校庭のゴミ拾いをスタートさせました。

ある日の朝のこと、ゴミ拾いをしてっていると、あるおばあさんが近寄ってきて、「姉ちゃん、姉ちゃん、あんたゴミ拾う時(どき)は、手袋して火ばさみでやるんだよ。素手はだめだよ。そういえば、この間までいた用務員さん、どこさ行ったの?」「おりますが…」けげんそうなおばあさんの表情。

―数日後―

「あんた、教頭先生だったんだってね。知らねがったから、ごめんね。」それ以来、そのおばあさんとは、すっかり仲良しになり、地域のことをいろいろ教えていただき、とても助かりました。

地域の皆さんは、学校への協力を惜しまず、学校へ足を運んで下さいました。その中でも、最も思い出に残るのが「萩小っ子祭り」です。前日から保護者の皆さんは、来校下さり、もち米をふかしたり、あずきをゆでたりして、もちつきの準備をします。

当日は、地域のお年寄りとの交流があり、一緒に遊びます。その後、本物のうすときねを使ったもちつきを見学し、つきたてのおいしいもちをごちそうになります。あんこもち、納豆もち、おつゆもち等をおいしくいただきます。学校と地域が一つになった大イベントでした。ダイナミックさにあふれていました。

今年、成人をむかえた子どもたちの同級会に招待され、なつかしい「なかはらドライブイン」に参りました。みんな立派に成長し、その成人した姿はみごとでした。懐かしい顔…

「二十歳の思い」や「二十歳になった自分へ」の手紙を読み上げる

子どもたち（？）の姿に感動させられっぱなしでした。私も知らないうちに、その時代（子どもたちは五年生）にタイムスリップしてしまいました。

たった二年のお付き合いだったのに、私のような者も忘れず、よんで下さったことに感謝するばかりです。なんて幸福な教頭時代だったと再確認しています。あの時の幸福が今の幸福につながっています。

百四十一年の輝かしい歴史に終止符を打ち、新生金成小中学校の一人になる「萩小っ子」たちよ、これまで培った力に自信をもち、萩小で学んだことに誇りをもって、志を高く、大きく飛躍して下さい。皆さんの未来に期待しています。

期待を込めて

教頭 遊佐 典義

私が、萩野小学校にお世話になったのは、金成町立と栗原市立の二年間でした。町制から市制に変わる時でした。宮城県でも一番北に位置する萩野小学校は閑静で自然豊かなそして歴史のある学校でした。子供たちは、とても素直で、明るく元気な子供たちでした。保護者の皆さんや地域の方々は、教育熱心でもとても協力的でした。子供の数が減少したとしても伝統ある校風をもち、素晴らしい環境に恵まれた学校が、学校再編により統合することは、誠に寂しい限りです。

私の教職生活は、この平成二十五年三月に有賀小学校の閉校と同時に終わりました。その時のことを思い出しますと、閉校を無事に終えることのできるだろうか、子供たちは、大勢の中できちんと学習することができのだろうか、友達ができるだろうか、スクールバスなので体力は落ちないだろうかなど心配事がたくさんありました。最後の年は、そのような不安を少しでも解消できるように先生方と努力してまいりました。退職した今も新生若柳小学校で子供たちは頑張っ

いるだろうかと心配しています。

朝夕、ある再編した学校の駐車場にはスクールバスが八、九台並んでいます。その光景を見ると統合することとはこのことかと思うことがあります。それは、時間に制限を受け、放課後などもっと自由に友達と遊んでいきたいのに帰らざるをえないのかな、勉強で分からなかったところを放課後十分に教えてもらおう時間があるのかとか心配になります。しかし、こんな心配ばかりではなく、休憩時間など、校庭でいろいろな体操をきた子供たちが本当に楽しく遊んでいます。子供たちは、大人が心配しているのに反し、すぐに友達ができ、なかよしになるんだと思います。

再編によって新しい学校生活でのよさは、たくさんあることにも実感しています。友達がたくさんできることや友達と切磋琢磨できるのもいいことだと思えますし、社会では多くの人間と付き合う必要がありますので、小さいうちから多くの人の中で過ごし自分を主張できるようにすることはとても大切なことです。そのようないいところを金成地区内の友達から多く学んでほしいと思います。また、小さい学校だと人間関係が固定がちとなりますが、五つの小学校の子供たちによりいろいろと友達関係が変化することもいいことだと思います。

金成地区は小中一貫教育校として、栗原市で初めての教育システムです。子供たちには、一人ひとりが自信をみなぎる学校生活を送っていただきたいと期待しているところからです。自分の力を信じ、そして更なる力を蓄えるべき、萩野っ子のよさである明るさと積極性でどうかすばらしい学校を作ってもらいたいと期待しているところです。



修学旅行（平成 18 年度） 遊佐典義教頭先生と児童たち



萩野小学校の思い出

教頭 西村 耕太郎

私は、平成十八年の四月から二年間、萩野小学校でお世話になりました。

二十五年度末で、閉校になることを知ってはいましたが、本当に残念でなりません。

たった二年間の勤務でしたが、私にとっては、とても温かくアットホーム的に過ごせた忘れることのできない素敵な学校でした。

萩野小学校に勤務させていただき本当にありがたいという思いでいっぱいです。

思い起せば八年前、私が萩野小の前任校の大崎市の宮沢小に勤務していた頃、私の子どもが一ノ関の高校に通学していたので、「もし転任するならば、萩野小に行きたいな。そうすれば有壁駅は目と鼻の先だ。子どもの学校への送迎が楽になるな。一石二鳥だな。」という単純で浅はかな考えをもっていたのです。

しかし、神は私の単純で浅はかな願いをかなえてくれたのです。何と私の思いが現実となり萩野小に転任が決まった時には、本当にびっくりしました。

萩野小での二年間は、毎日が楽しく仕事も充実していたので、このままずっと萩野小で勤務できないものかと、単純で浅はかな願いを再びもってしまいました。しかし、神はそう甘く



卒業式（平成 18 年度）

はありませんでした。泣く泣く私は、萩野小に後ろ髪をひかれながら（髪はありませんでした）築館小に転勤したのでした。

なぜ萩野小にずっといたかったのかと

言うと、学校の子どもたちもそうなのですが、保護者の方々、地域の方々皆素晴らしい方ばかりで、ほとんどストレスがなく過ごせたからだと思っています。保護者以外の地域の方々とは触れあう機会も多く、本当に良くしていただきました。真の意味で、地域に根差した学校だったと思います。

私の記憶に残っているのは、プールに水を入れる際、簡易水道なので山にある貯水槽の水があつという間に減ってしまい、水道課からプールへの給水を止めるように電話が来たこと。そして、貯水槽に水が溜まるまで待たなくてはならず、満水にするのに何日もかかったことや、その水がとても冷たくプールの水温を上げるのにも日数を要したことです。その他にも老人クラブの方々による新年の門松づくり、祖父参観での縄跳び大会、餅つき大会、子どもを地域で見守るための安全見守り隊の立ち上げ、愛鳥の指定校になり鳥の巣作り学校周辺の木に取り付けたり、萩の鶴酒造見学と利き酒会、保護者の方々との夜の懇親会等々楽しい思い出がたくさんありました。

またいつか戻って、勤務できればいつも心の片隅で思っていました。戻ることができなくなりとても残念に思います。

今、百四十一年の長き歴史を閉じるわけですが、私の心の中には、いつまでも良き思い出として残っています。

今は、ありがとう萩野小学校という気持ちでいっぱいです。



萩小っ子感謝祭餅つき
（平成 18 年度）



萩小っ子感謝祭 しめ縄づくり (平成 15 年度)

見学に行き、豆腐作りを学び、自分たちが育てた豆で、豆腐作りに挑戦したり、子どもたちと共に「萩野、いいなあ。」という心境になりました。

地域との関わりが深く、老人会の方々には大変お世話にな

萩野大好き

小野寺 八重子

冒頭の言葉は、当時の萩野小学校二年生の生活科のタイトルでした。私は萩野小学校に平成十二年度から五年間お世話になり、在任時代は冒頭のタイトルそのものでした。今でも鮮明な記憶として残っている一つが、生活科の取組です。私は担任ではありませんでしたが、二年生の子どもたちと一緒に活動しました。保育所に行つて、二年生がミニ先生となって会を進めたり、遊んであげたり交流を深めました。両者とも楽しくてしようがなく、帰る時には、「ええ。まだ遊びたい。」と保育所の子どもたちから大きな声があがり、予定していなかったのですが、再度交流会実施となりました。二年生の子どもたちは会を重ねる毎に、より楽しく充実したものにしようと思ひになり、二回目が終わった時には、達成感と充実感で満面の笑顔がこぼれました。保育所の子どもたちが見送ってくれた時、「また来てねえ。」と大きな声から遠くなるまで聞こえ、今でも耳に残っています。豆腐屋さん



門松 (平成 2 年度)

りました。正月近く、会の方の指導の下、全校児童が藁で縄やしめ縄を編んだり、わらじ作りに挑戦したりしました。十二月末になると、高学年がお手伝いをして立派な門松を会のみなさんに作っていただきました。門松はとても凛としていて、児童は年が明けると、新たな夢や希望をもって学校生活を送っていたことが思い出されま

す。たくさん思い出がある中で、もう一つ感動的なことがあります。千葉福寿園(志波姫)に高学年が訪問した時です。一緒に折り紙を折つたりお話をしたり肩をも

んであげたりと、子どもたち一人一人がおじいさんやおばあさんと関わっていたら、うれしくて感極まったようで、涙ぐむおばあさんが何人かいました。いざ帰る時には、子どもの手を握り何度も「ありがとう」と言い、車いすに乗りながら玄関まで出て来て、手をずつと振っていました。

萩野の地、人、ものに関わりの中で、たくさん感動と思い出をいただきました。

「うさぎおいしかの山 こぶなつりしかの川・・・」。萩野小学校の子どもたちも、いつまでも忘れられないことや、忘れられない人・友思い出が、小学校と重なって、「ふるさと」の原風景として残ることと思います。そして、子どもたちも「萩野大好き」といつまでも思い続けるでしょう。

閉校に当たり、子どもたちには萩野小学校出身としての誇りを持ち、自分の夢に向かって活躍していくことを願っています。

思い出がいっぱい

阿部 良則

平成十七年四月赴任。以来六年間勤務させていただきました。

P T A主催の歓送迎会。ほぼ全員という参加率の高さはもちろん、ご夫婦同伴での出席が多いことに驚きました。その年の新春懇親会の席では「謡」で始まり、衣装もメイクもぼっちりの「七福神」の登場に度肝を抜かれました。年々P T A会員数が減少し行事運営が厳しいとぼやきながらも、互いに協力し合い伝統あるP T A活動を継承していました。どちらかと言えば人付き合いが苦手な私です。それを察してか、保護者の皆様の方から声をかけていただき親しくさせていただきました。

こんなことがありました。学校評議員の方々の懇親会の席上でのことです。ある評議員の方に、こんなことを尋ねられました。「先生、地域に馴染む努力をしていますか？私は頭を下げるのが大事だと思ふな。通勤途中の車の中からも必ず自分から頭下げでみらいん。」と。話の趣旨は、出会った人にはお辞儀をなさいということ。そんなことは当たり前のことと思いましたが、よくよく考えてみると・・・。その方の人柄もあつてか、人との関わり方の極意を教えてもらった気がしました。

こんなこともありました。あれは確か、校内事情で多忙だった年の暮れのことでした。職員室で仕事をしていると、窓をコツコツ叩く音。そこには、あるご夫妻が笑いながら立っていました。「今ね、買い物に行ってきたの・・・。」ご夫妻は、こんな時間にまだ職員室に電気がついているのが見えて気になって来たとのこと。時計は九時を過ぎっていました。「先生、雪降るってよ。もうやめで帰らいん。晩御飯食べでいねんでねえの。これ今特売で買って来たやずだけどさ、食べら

いん。」と差し出されたのはバナナでした。その瞬間、私は急に胸がいっぱいになり言葉につまってしまいました。そして凶々しくもずっしりと重いバナナを受け取っていました。

萩野地区には有壁本陣を筆頭に由緒ある名所旧跡が多く、それがバックボーンとなり、地域への愛着心が強く、またいい意味でプライドの高い人々を育ててきたのだと感じていました。地域の子供たちの登下校を見守って下さる安全安心隊の方々。ふるさと教室で縄ないやしめ縄作りを教えて下さったり、校舎玄関前に立派な門松を飾って下さったりする老人会の皆様。休日や早朝にこっそり校庭を整備して下さっていたP T AのO Bの方。こうした萩野地域の力が子供たちの成長の土台になっているのだらうと常々感じていました。

今、少子化に伴い学校再編が加速しています。その趣旨は理解しつつも、小規模校だからこそできる教育活動が姿を消していく寂しさを感ずるのも事実です。六年間、数々の貴重な経験をさせていただきました。萩野小学校での六年間は私の教職生活の中で最も充実していた期間であったと言っても過言ではありません。萩野小学校で関わりをもった皆様はこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。最後になりましたが、あの純朴で明朗な子ども達が、それぞれの道で今後も活躍されますように、そして萩野地区の益々のご発展を祈念しております。

萩野小学校の閉校に寄せて

千葉 宏

歴史は古き百四十一年の幕を閉じることになったとか、時代がそうなった様で一面寂しい気がします。その歴史の中に私も勤務させていただき誇りに思います。昔をたどれば、武士の時代より栄え、本陣あ

私の萩野小学校勤務は、昭和三十四年から四十三年までの九年間で、内一年間は、上片馬合分校に勤めました。当時の学校は、校舎の中央にバルコニーがあり素晴らしい校舎でした。特に担任した子どもたちの思い出に残るのは、宿直の晩に五、六人が来て宿るのです。

なつかしい思い出

及川 力男



館山児童会の歌

り、それにより町ができたようで。私は、二十二年度から七年間勤めさせていただきました。その間で思い出すのは、プールの完成、子どもたちは思う存分晴れやかに泳いでいました。私も若かったので、泳ぎを指導しました。一方、六年担任の際、あるところへ児童会の歌の制作を指導し、依頼しました。子どもの心に響く歌いやすい歌が完成しました。

いろいろな学校を経て十五年、幼稚園勤務から学校にあがった時、児童会の歌が歌い継がれていることに嬉しく思いました。

一方別のことですが、宿直室が一日中日の当たらぬ場所であり、特に冬などは、自分の息で布団の口元が凍る状態でした。そこで電気毛布を設置していただきました。これで幾分か気が休めました。

子どもたちは、素直で親しみやすく、何でも話してくれました。これは、父兄の心が子どもに移るんだなと感じました。

私にとって、楽しい七年間でした。ありがとうございます。



音楽研究会 (昭和36年度)

「それは、親の躰が良いからでしょう。PTAも学校教育に理解があるからでしょう。伊藤校長先生も有壁学区は学校に協力的ですし、学校経営がやりやすかったですよ。」と話すとき、「そうだ。」と頷いていました。来年からは、旧金成町内一つの学校になります。百四十一年築いた先輩の方々に感謝し、萩小の逞しい力を発揮されることを期待します。

四十分位は、割り算や本読みの勉強をしてから、一人で二階に行つて戻ってくる肝だめしのような遊びをしたりして過ごしました。学校に来る時は、米と野菜を持ちより夕飯と朝食の準備は、子どもたちと一緒にし、その世話は、学校に住みこみの佐藤よしえ用務員さんでした。おかずは納豆です。たまに佐幸魚屋の干物を買います。ある年、一年生を担任して間もない頃、一年生だから弁当を食べるのが嬉しくて、立つて歩いて食べる子もいて、注意すると、今度は、膝をついて食べ歩く駐在所の高野巡査の息子宏一君でした。賢い子でした。また、学校へ来ると、すぐ弁当を食べる子もいて「先生、〇〇ちゃんがまた弁当を食べるよ。」と教える子。六年生担任の時、学芸会に楽団の真似をするための音楽会です。楽器は私の手作り、私はアコを弾き、それに合わせて「ミカンの花咲く丘」「里の秋」の童謡を歌い、その司会は、おしゃべりの好きな下片馬合の鈴木儀男君でした。その儀男君は、元郵便局を改造したスナック、歌ごえ広場はぎのカラオケ大会の司会をしています。萩小を離れてから、ある時、築館出身の伊藤校長が私に、「萩小の子は、いい子が多く、はつらつとしており、前向きになんでもやる気のある積極的な子が多く、思いやりもある子が多い。」と話してくれました。私がそれに返答した言葉は、「それは、親の躰が良いからでしょう。PTAも学校教育に理解があるからでしょう。伊藤校長先生も有壁学区は学校に協力的ですし、学校経営がやりやすかったですよ。」と話すとき、「そうだ。」と頷いていました。来年からは、旧金成町内一つの学校になります。百四十一年築いた先輩の方々に感謝し、萩小の逞しい力を発揮されることを期待します。



回想記

「年々歳々人同じからず」

大分年輪を重ねました。憎まれっ子世に憚る。顧みれば五十年前にさかのぼります。

・萩野第二小（昭和三十一年四月〜昭和三十九年三月）

・萩野小（昭和三十九年四月〜昭和四十五年十一月）

通算して約十三年勤務させて頂きました。

萩野地区民全員の方々に絶大な
お世話様に相成りました。深く
感謝申し上げます。

当時の教え子たちは現在、一大家族の大黒柱となって家庭を守り社会的役割をもって活動している年代です。

そして今現在、我が子のために抱えている小中一貫教育校の確立を目指して努力している段階だろうと思えます。これも社会情勢の変革から少子化現象となった要因であり、平成二十五年から栗原市で初めての小中一貫教育校が発足するわけです。なつかしい、思い出深い現校舎を残して統合されるのです。五つの校舎を残していく心境、一抹の寂しさを感じるでしょう。

萩野小在任中の思い出として今尚印象に残っている一つとしては、月一、二回ほど日曜日を利用して、地区毎の親子野球大会が実施されたことです。親も子も一体となり夢中だった姿が目映っています。



卒業式（昭和39年度）

菅原 昭一

二つめは、毎年「書初め」席書会を励行した事です。全校児童を屋体を集め、一斉に席書会を行いました。親たちに案内をして、自分の子どもが筆を持つ姿を目の当たり観察されました。子どもたち自身も真剣な態度で書かれました。出来上がった書を一斉に壁に貼り、喜んだり拍手をしたり楽しんだものでした。

懐かしの片馬合分校

木村 和彦
木村タケ子

昭和四十六年。当時私達夫婦は二十八歳と二十七歳。二才になったばかりの長男、生まれて半年の二男を連れて、片馬合分校に赴任した。生徒数は一〜四年生で九人。職員は、我々二人の教員と給食のおばさんを兼ねた用務員さんの三人。

分校で過ごした楽しい日々が今も多く思い出とともによみがえってくる。

一 金成町でただ一つだった完全給食実施校

どういう訳か片馬合分校は当時金成町で唯一の完全給食実施校だった。最初に面食らったのは、栄養士の免許もないタケ子が献立を作り、同じく調理師免許のない用務員さんが調理して子供たちに給食を出すという世にも不思議な給食である。今だったら到底認可されそうもないシステムが堂々とまかり通ったのんきな時代でもあった。

文句を言っても始まらないし、ここに来た以上やるしかない。どうせやるなら、お金をあまり使ったことのない子供たちに買物の経験をさせ、社会科と算数の実践をさせようと、子供たちを私達の車に乗せ、一関まで給食の食材を買いに出た。生活科、総合学習の十年先取り???

四十七年には、この給食がNHK・TV朝のローカル放送で十五分

番組として放映された。ケチャップの嫌いな子に少しずつトマト味に慣れさせる個人別味付け、生活経験を豊かにする買い物など・・・個に合わせた理想的な給食としての紹介だった。若柳町と一緒に全町のセンター給食が始まる数年前のことである。

二 理科は山学校

学校の裏山は、山菜・キノコの宝庫だった。子供たちは、キノコや山菜の種類も生えている場所も先生以上に知っていた。見つけるのは早い早い・・・。

採ってきたものは給食に生かされたのは言うまでもない。地元のハンターさんから頂いたキジや野兎まで食材になった。

林の中に落ち葉の陰から列をなして顔を出し輝いているシメジ。香りで探すイノハナ（コウタケ）・・・私達の目も子供たちに負けないくらい輝いていたに違いないと思う。残念なことに後にゴルフ場となってしまうが、今はどうなっているのだろうか。

三 牧野はスキー場

冬には結構雪が積もった。分校の南向かいの山は広々とした牧草地で子供たちとスキーやそりで楽しんだ。

みんなでフキを採って佃煮の業者さんに売ってそのお金でスキーを買ったのだ。

本校から高学年の子供たちがスキーやそりをしに分校訪問をしてくれた年もあった。

四 片馬合劇団

学芸会は本校で行う。

分校は分校として出演する。何かと気後れしがちな分校の子供たちに、堂々たる演技をさせ、自信を持って本校高学年に入っていけるよう指導するのは分校教師の大事な使命の一つと思つて、張り切って取り組んだ。



一人一鉢運動 片馬合分校 (昭和 56 年度)

やったのは主に民話劇。「かさじぞう」「相撲に勝った貧乏神」など。私達教師も、保護者の方々も出演者だった。脚本は配役を決めてから和彦が書き、花泉町出身のタケ子が方言に書き換え指導した。

内容表現とも地域にマッチしたせいもあり、分校劇は大うけ。噂が噂を呼んで、分校劇の時は地域の人で体育館が満席になった。「片馬合劇団」などと言う人もいた。今も脚本は手元にとつてある。

和彦が分校勤務を終えてから三十七年・・・。若さ故に多くの先輩や地域の方々にご迷惑とご心配をおかけしながら、ただがむしゃらに実践してきたあの日々。今思うと感謝の一語に尽きる。

片馬合在任中に生まれた長女は間もなく二児の母になろうとしている。光陰矢のごとしである。



片馬合分校玄関前

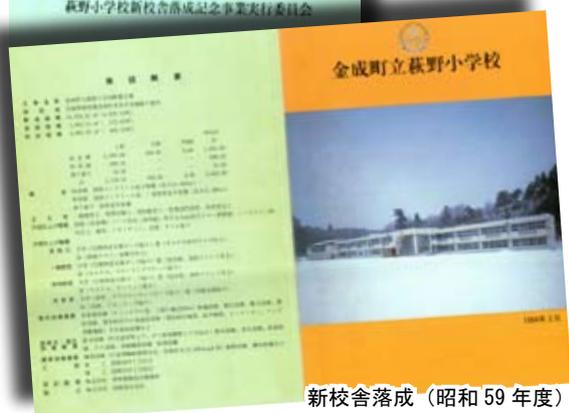


分校と本校の思い出

千葉 功

一九八一年（昭和五十六年）四月～一九八七年（昭和六十一年）三月、片馬合分校が閉校するまでの三年間と新築された萩野小学校で三年間と合わせて六年間勤務させていただきました。

特に、仙台のど真ん中の小学校から転勤してきたばかりの分校勤務の三年間は新鮮でした。十人足らずの全校児童、二人の担任、そして、用務員のおばちゃん。本当に家族のような生活でした。保護者の皆様や地域の方々から差し入れられた野菜で、おばちゃんが作ってくれたみそ汁を味わいながら食べるお弁当。（当時は、毎日弁当持ちでした。）忘れられません。分校ならではの四季折々の楽しみがありました。裏山でポケット図鑑を片手に、きのこ狩りに挑戦し、肥米斗袋二つ分も集め、大喜びで地元の方に鑑定していただいたら、「一つも食べられないもの、ねえなあ。」と言われ、がっかりしたこともあります。冬は向かいの牧野でそり滑りが楽しみでした。とにかく、元気な子どもたちと



新校舎落成 (昭和59年度)

勉強も運動も思いっきり楽しみました。そして、閉校記念として、みんなで記念製作をして別れを惜しみました。佐々木栄子先生、高橋悦子先生、用務員の阿部恭子さん、そして、地域の皆様、本当にお世話になりました。

新築された本校でも三年間お世話になりました。雪解けの足元の悪い中、木造の旧校舎から新校舎（現校舎）への移転作業は大変でしたが、子どもたちや保護者の皆様と一緒に頑張りました。子どもたちと水泳大会や陸上大会などに行って一喜一憂しあったことも思い出です。

純粹で個性的な子どもたち、佐藤恒之校長先生、鈴木薫校長先生始め諸先生方、保護者の皆様や地域の方々とともに過ごせた六年間は私にとって大切な宝物です。大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

原点を想う

（萩野小学校閉校にあたって）

木村 秀典

三十数年前の四月、新任教師として私は萩野小学校に赴任しました。忘れもしません。旧校舎の職員室で初めてお会いした鈴木コヨ先生の凛とした姿勢に接したのが、教師となる私の第一歩目でした。

受け持ったのは女子十二名男子一名の六年生。ピアノも弾けず学校の行事も分からない私はよく子どもたちからかわれましたが、それでも無我夢中で子どもたちに向き合っていたように思います。

あの三年間担任した子どもたちはどの子もそれぞれ持ち味のあるいい子ばかりでした。子ども達との思い出について語るとキリがありません。私の心の中ではまだ、五年生や六年生の〇〇さん、三年生の△君のままなのですけど、今では素敵なおじさん、おばさんをしてるのでしょね。何とも不思議です。

三年暮らしたのは片馬合分校の職員住宅でした。あんな世間知らずの若造を地域のみなさんやPTAのみなさんには温かく見守って頂きお世話になりました。たまたま私が参加させていただいた町民運動会の時は片馬合が優勝。すっかりお酒をこちそうになって国道四号線沿いの食堂から分校までバイクを押して帰ったことをこの間のよう

に思い出します。
昔は保護者の方とお酒を酌み交わす機会も多くありました。懐かしくも古き良き時代でした。きつと私のことですから青臭く生意気なこともずいぶん口にしたことでしょうに本当に優しく大らかに接していただきました。思い起こせば恥ずかしいことばかりで恐縮してしまいます。そしてありがたい感謝しております。ほんとうにありがとうございます。

教師は採用試験を通っただけで「先生」になるわけではありません。子どもたちに教えられ鍛えられ、保護者のみなさんに見守られ育てられて「先生」にさせていただくものだとは経験からそう実感しています。

その点、私は本当に幸せ者でした。佳き人、佳き子どもたち、佳き先輩に囲まれて教師生活をスタートできたのですから。

初年度は旧校舎体育館での最後の卒業式になりました。経験ゼロの新任教師などに何ができたでしょうか。若さとい生懸命さだけで、子どもたちに役に立つ力を持ち合わせていないことにもどかしさだけを感じていたあの頃です。あの時、五年経ったら五年経ったなりの十年目には十年目にふさわしい教師にはなっているか



片馬合分校閉校記念（昭和58年度）

らと心の中で子どもたちに誓い、何年経ってもその思いは忘れず教師生活を続けたつもりです。

その翌年、現在の新校舎に移りました。あれから今日までどれほど多くの子どもたちの成長のドラマをあの校舎は見続けてきたことでしょうか。私もこれまでの半生の節目、節目に萩野小・旧片馬合分校をそつと訪ねて来ました。それは自分の歩みを振り返り一つの原点を確認するためだったような気がします。

きつと萩野小学校はこれからも同じように多くの人にとつての原点であり続けるのでしょうか。

私は楽しく幸せな教師生活を十二年で閉じました。父の他界を機に家業のそろばん塾を引き継いだからです。それから二十年、そろばん塾と学習塾の塾長をしています。相変わらず「どの子どもみんな幸せになってほしい」と願いながら毎日小学生から高校生までの子どもたちにおだやかに関わること

ことに喜びを感じて生活しています。もちろん忘れていません。

最後に片馬合のみなさん、職員住宅に残ってしまった大量のお酒の空きビン、大変申し訳ありませんでした。



新たな節目を迎えて

高橋 悦子

体育館裏の井戸の主「サンショウウオ」は、健在でしょうか。井戸は、まだあるのでしょうか。

昭和五十七年から五年間お世話になった萩野小学校では、分校閉校・新校舎建築と大きな節目に立ち会い貴重な経験をさせていただきましました。

○着任早々、校舎建築・分校閉校についての話し合いが何度も開かれ、社会の厳しさを 痛感したこと。

○昭和五十八年、分校勤務となり分校の子どもたちを車に乗せ、ちよつとした遠足気分で本校へ通ったこと。

○昭和五十九年三月、明治十八年からの片馬合分校の伝統に幕を引いたこと。閉校式で子ども以上にがちんがちんに緊張したこと。

○同年三月、どろんどろんの校庭の中、トラック・リヤカーを駆使して新校舎へ引っ越した事。みんな泥だらけ。

○同年七月、プールが完成し大はしやぎしたこと。

何もかもが真新しい環境。廊下に付着してしまった上靴の跡やドアの手垢などを消しゴムでせっせと消したり、ドアの開閉を優しくしたり、子どもながら気を遣って生活していたのを覚えています。

そんな忙しい中で、ほっとした行事が『収穫祭』でした。保護者の方が、地元の食材を使って杵と臼で『エビ餅』・『きじ餅』を作ってくれたこ



新校舎 昇降口（昭和 59 年度）

とに感動しました。保護者の方の地域や子どもたちへの思い、メッセージがたくさん込められたご馳走でした。

素直で笑顔がぴったりのお茶目な子どもたち。パワー溢れる保護者、そして地域の皆様。子ども・保護者・地域そして学校が一丸となって突き進んだ萩野小学校は、私にとって忘れられない地となりました。

そして、温かい地域の皆さんに囲まれながら育った卒業生一人ひとりの心の奥に色あせることのない思い出となり、勇気を与える大切な故郷となることでしょう。本当にありがとうございました。

懐かしい萩野小学校

鷹猪りつ子

「先生、私を覚えている。ほら、萩野小学校で姉が先生に教えられたの。」と若いお母さんに声を掛けられ、うれしいやら懐かしいやらで頭の中は、木造校舎の萩野小時代にタイムスリップしました。萩野小へ転動したのは三十代後半、今六十五歳の私、約三十年も前のことです。

萩野小学校は、家族的で地域とのつながりも深く、子どもたちも一人一人の個性が輝いていて頑張りやで、楽しい思い出がいっぱいの忘れられない学校です。と同時に、もつといるな事をしてあげれば良かったなど申し訳ない気持ちも交錯しています。でも、閉校記念事業にかかわっている教え子たちの懐かしい名前を拝見し、みんな立派に成長して、故郷のために情熱を注いでいる様子を伺い、感激でいっぱいです。

あの頃は、自然がいっぱいで、裏山に行けば切り通しがあり、化石？が出て、そばの小川にはサンショウウオが生息し、新聞記者が取材に来て、冬は牧野でミニスキーやそりすべりをして等々、教育するには

最高の環境でした。

社会の時間、学校を取り巻く地形を調べて地図作りをする時、実際に子どもたちと東西南北の道を歩いてみて、自然豊かなところに住んでいる子どもたちは、幸福だなと思いました。当時は、弁当持参で、休み時間も十分遊べたせいも、勉強だけでなく、運動面でも活躍する子が多かったです。

その頃、分校もあって、分校と交流するのも楽しみの一つでした。地域の人たちも温かくて、春になるとワラビや草もちを職員室に持ってきて、「食べてね。」と言ってくれたり、神奈川県や塩釜市の学校に勤めていた私には、とても新鮮でうれしかったです。さらに、私たちが指導不足の時は、厳しく激励され、頑張れば一生懸命協力してもらえて、共に子どもたちを育ててるという実感がありました。

私が定年退職まで目的をもちながら勤めることができたのも、素直で明るい子どもたちや広い心で温かく教育活動を支えてくださった保護者の皆様や地域の方々のおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。

萩野小学校が閉校になるのは、さみしいですね。私を通った中学校も閉校し建物も残っていません。でも、中学校のことは鮮明に覚えていますが、心の中に母校はあります。卒業生や在校生の皆さん、閉校になっても萩野小学校で努力したことに自信をもち、胸を張って歩いてってください。

そして、名前が消えても忘れないで萩野小学校を。

回想



伊東 悌二

萩野小学校の閉校にあたって「記念誌」の発刊されますことに心から敬意を表します。

萩野小学校に赴任したのが、昭和六十年から二年間でした。当時の学校建築は、ほとんど木造校舎であるのに、目の前の校舎が、洋風で鉄筋造りで、しかもオール電化という近代的な校舎であったのには、驚嘆の連続でした。

学校全体から、これは未来に向けて、素晴らしい伝統と校風が築き上げた地域住民の姿であるなど痛感させられました。

回顧してみると、萩野小学校学区の地域住民とのコミュニケーションを図りながら、純真無垢で明るい子どもたちと伸び伸びと話をしながら、一日一日を楽しく過ごせた学校生活を大過なく終えたことが、脳裏によみがえってきます。

近頃、社会情勢によって、地方がもろに被った少子化や過疎化という世相が、児童生徒数を減少させ、それに伴って、閉校する小中学校が増加してきたわけです。今後は、高校大学へと拡大し、社会人の雇用問題にまで発展するのではないかと推察されます。

閉校することは、児童生徒との教育ばかりでなく、学区の地域社会に影響し、社会の交流の場も失うということ事態が大変なことなのです。ある面では、市行政の飛躍の踏み台となることを願ってやみません。

それにつけても、萩野小学校のPTAの皆さんが閉校記念事業の一つとして「記念誌」を発刊されるということには、誠に意義深いものがあると思います。

閉校記念事業を大きな契機として「町づくりは人づくり」。萩野の教育が一段と充実進展し、学校の校風と歴史がいつまでも萩野地区の地域社会に語り継がれることを祈っております。

最後に、編集に当たられました方々のご苦労とに感謝申し上げますと共に、皆様の益々のご活躍とご発展を心からお祈り申し上げます。



修学旅行（昭和61年度）



子供の力を知った萩野小学校

横山 剛

私が萩野小学校にお世話になった在職期間は、昭和六十年から平成四年までの七年間です。三十歳後半から四十歳前半の若かりし頃でした。父親の交通事故のため、八年間お世話になった川渡小学校に別れを告げ、初めて自宅・岩手からの通勤を決意した年でした。最初は遠いのかと思いつつ、現実には通勤して見れば三十分以内の通勤時間で、親近感を覚えたのを思い出します。当時の校舎は新しく、体育館には暖房も設置されており驚きました。片馬分校が閉校になり、かつての分校の子供たちがスクールバスというタクシーで通っていた頃でした。教職員十三名、単学級で障害学級を入れると七学級、全校百二十名程の在籍児童でした。子供たちは純朴で、素直な子供たちでしたがどこか目がすわっていない、あたりを気にして活動するような雰囲気を感じたことを思い出します。

隣が一関市ということもあって、昔から保護者の皆様は隣県で働くことが多く、考え方に斬新さを持っていました。又農村部の保護者の方々も、農業経営に自信を持ちプライドの高い方々でした。

子供たちはとにかく競うことが得意で、それが自信につながっているような感じでした。逆に言えば、競い合うことで序列が生み出され、子供同士の共感が少なかったように感じたのです。当時、職員会議ではいつも、「まとまり」や「共育」を中心に絞って話し合った記憶があります。その中で共通理解したことは、「自信の無いことで子供ばかりを攻めないで、六学年を中心とする教育に全職員が携わり、まず先生方から力をだしていこう」ということでした。教育計画を全職員で吟味し、六年生に全職員がかかわって育てることでした。先ず、縦割り班では必ず先生も一緒に働き掃除をする。自己目標を立てさせ、

反省させる。体育祭の練習では、パーツごとに業務員さんも含めた担当職員を割り振り、教師の責任で練習を終える。農業体験、お年寄りの交流、野外活動を取り入れ、自律した行動に慣れさせると言うことでした。当時は、若い先生方がどんどん転入してきて、生方が体験の場所を増やせばそこで活躍する子供も増え、良さが全体の認めにつながることも多くなっていました。子供たちも自信につながり、高学年が陸上や水泳、バスケットあるいは音楽祭で大活躍するようになり、低学年の子も六年生になったらあのようなになりたいという「あこがれ」が少しずつ芽生えてきたのに驚いたものです。

P T Aでは当時、県の「青少年健全育成協議会」に関わり、子供について役員会が終わった後「ああでもない、こうでもない」と子供会や教育について飲みながら語り合う機会が多くなり、発表まで頑張ったことが思い出されます。P T Aが耕耘機を学校に寄付され、それですべてでダイコンやサツマイモを植え収穫し、町の品評会で入賞したことも快挙でした。当時の会長さんの笑顔が忘れられません。

なんといつても忘れられないのが、学芸会。子供たちはせりふを覚えてたり、教え込まれるのを嫌い、身が入らないことに悩まされました。先生方と相談し、全員が共通に力を発揮し達成感を持たせるには「民舞」がいいのではないかと言うことになり、古川の知人にコンタクトし、早速踊りに取り組みました。ぶつぶつ文句を言っていた子も、次第にのめり込み、当日は全員のかげ声勇ましく「御神楽」を踊りきったことを思い出します。次の年からは、グレードアップした上級「御神楽」もマスターし、子供たちはいつしか下の学年に引き継ぐようになったのは不思議なことでした。私たちも負けずに、校長を中心に民舞「壁塗り甚句」を踊っていました。

あれから二十七年近く経ちますが、不思議とあの頃の卒業生と縁があり、今でもお盆には教え子たちとお酒を飲んでいきます。

萩野小学校が百四十一年で幕を閉じることは非常に残念でなりません。しかし、少子高齢化の中で思い悩むより、今後を見据え新しい教

育環境の中で切磋琢磨して自律し、たくましさや思いやりの心を持ち、二十一世紀を力強く歩む子供の育成を切に望むものです。

駆け抜けた緑のユニフォーム

阿部 陽介

「何で萩野の子どもたちはそんなに強いのか?」「走っても、跳んでも、投げても強いなあ。」

陸上競技大会での萩野小学校の子どもたちの強さは、多くの観客や審判員の目を引きました。金成町大会ではいつも断トツの成績でした。栗原郡の大会でも、種目によっては大きな学校の選手と表彰台を争うほどの強さを見せました。

私は、昭和から平成にかけて萩野小学校でとても充実した教員生活を送らせていただきました。二十六歳から三十一歳までの六年間で、若さも手伝って多少力ずくの指導だったことを、今思い出すと恥ずかしくなると同時に、当時の教え子たちに申し訳なく思っています。同僚の先生方も皆若く、学芸会では職員によるプログラムがあり、民舞や和太鼓、歌謡曲の演奏等を披露しました。土曜日が授業日だったということもあり、子どもたちが下校した後、出前のラーメンをいただきながら教科指導のこと生徒指導のことなどについて多くのことを先輩教師から教わりました。それが、教師としての今の自分の基礎になっています。

当時は教員が自分の学校のスポーツ少年団の指導に携わることも普通に行われていました。私は少年野球チーム「萩野小イーグルス」のコーチをさせていただけいました。放課後や土曜日の午後、県立病



陸上大会（昭和 62 年度）

院で検査技師をされている松館監督に代わり、ノックバットを振っていました。また、日曜日や祭日は松館監督と共に対外試合にも随分出かけていきました。現在の学校事情では考えられない時代でした。お陰様で、多くの子どもたちや保護者の方々と深いかわりを持たせていただきました。

一年生から六年生までの異年齢小集団であるいわゆる「たてわり班」での活動も盛んでした。たてわり遠足、たてわり清掃、たてわりリレー：運動会の花は全校たてわりリレーでした。四月から五月の運動会までは業間運動としてたてわりリレーを行いました。興奮してくると運動靴を脱ぎ、裸足になって走る子どもが多くなりました。確かに、萩野小の子どもたち場合は靴を脱いだ方が早く走れるようでした。きっと、全身の力が素足の足の裏から地面に効率的に伝わるのかもしれない。当時は本気でそう思っていました。陸上大会の本番で、「先生、裸足で走りたい。」と訴えられたとき、若かった私は競技役員に聞いてみました。そうしたら、競技規則にあるように裸足は禁止と言われたことを覚えています。

ある年の九月、金成町小学校陸上競技大会で緑のユニフォームを着た萩野小学校の選手たちは、男女とも、短距離も長距離も、走り幅跳びも、走り高跳びも、ボール投げも、そしてリレーも表彰台の一番高いところか2番目にいました。他の小学校の先生方や審判員に「何で萩野小学校の子どもたちはそんなに強いのか?」と聞かれました。私は声高らかに答えました。「だって、毎日裸足で走っているもの。それに、負けず嫌いが多いからのっしや。」

百四十一年の萩野小学校の歴史を閉じることに對して、寂しい気持ちでいっぱいです。当時お世話になった子どもたち、保護者の皆様、上司や同僚の皆さんの顔が生き生きとよみがえってきます。来年度から金成小学校で学ぶ子どもたちには、ここで育んでこられた力を、新しい学校の伝統づくりと今後の自分の人生のために大いに発揮していただきたいと心より願っています。



萩野小学校の思い出

横山 郁子

萩野小学校は金成町（現在は栗原市）三校目に勤務した学校でした。平成五年四月から平成十一年三月までの六年間勤務させていただきました。萩野小学校にいる六年の間に、素晴らしいたくさんさんの思い出がありました。

一つ目は、何故か担任する学年が、一年生が多かったです。萩野小学校に転任した年から一年生の担任が数年続いたので、保護者に「先生は、一年生の免許しか無いのですか」と、聞かれたことがあります。その質問には思わず笑ってしまいました。

二つ目は、朝の花壇の草取りです。朝の活動はいつも児童と一緒に草取りをしていたように思います。ある朝、草を取った後に、焼却炉に火を付けていた養護教諭のA先生が火を付けた瞬間に焼却炉の戸を閉められて、閉じ込められてしまう・・・というハプニングがありました。幸い少ししてから気付いていただき、脱出することができました。後でその話を聞き、その時は大変びっくりしたことを今でも覚えています。

三つ目は、運動会の鼓笛隊です。一月頃から全校で練習に取り組み、運動会では歩きながら演奏する。みんなで楽しんで練習に取り組みました。上級生は本当に毎年親切に下級生のお世話をしてくれました。

書ききれないほど、たくさんさんの思い出があります。先生方にも恵まれ、何をすることも一緒に考えて取り組むことができました。

また、学校行事や学年PTAでは、心温かい保護者のみなさんにくさん協力していただき感謝しています。

萩野小学校での六年間は楽しく、あつという間に過ぎてしまった六

年間でした。

本当に、ありがとうございました。

子どものためなら

菅原 逸子

今年の一月。ある一通の手紙が我が家に届いた。

「ご無沙汰しております。萩野小学校で一年生の時にお世話になりました。覚えていますか。今年、成人式を迎えました。成人を迎えた今、お世話になったお礼が言いたくて手紙を書かせて頂きました。ありがとうございました。」という文面だった。

教師生活三十五年間で始めていただいた成人した教え子からの手紙。何度も読み返し、卒業生の一年生の頃の顔をなつかしく思い出した。学校が楽しく、私を思い出してくれた教え子がいたことに、胸がいっぱいになった。萩野小学校で学んで素敵な出会いや思い出ができて、成人した今でも生き続けているなつかしい思い出。「先生、一年生のころ、すごく楽しかったよ。ありがとう。」とお礼の手紙を書きたくなった教え子の気持ちは、どこにあったのだろうか。

まちがいない、萩野小学校で学んだ数々の経験、体験がお礼の手紙へとつながったと思った。

萩野小学校は、子どもたちを保護者や祖父母だけでなく、地域ぐるみで育てていた。子どもたちのためなら何事にも協力し支えてくれた。

一年生担任の時、「むかしの遊びをしよう。」という学習があった。保護者会で「子どもたちに竹馬を体験させたいですが、竹馬ないしね。」と何気なく言ったことが、祖父母の方に伝わり、二学期の初めに、学校の玄関に、竹馬がきれいに並べられていた。私は、言葉が出なくて、感謝の気持ちを子どもたちを育てることで恩返しするしかないと思っ

た。「子どものためなら、なんでもするよ。なんでも言っつけてもらいん。」という祖父母の方々のあたたかい言葉。

三、四、五年担任の時、保護者が企画する学年行事は、まさに“子どものためなら”の行事が多かった。キャンプ、肝だめしなど・・・今でも子どもたちに楽しい思い出を作っただけでなく、必死に頑張っていた保護者の方々の姿が思い出される。

地域めぐりをした時は、あたたかい気持ちで子どもたちに声をかけてくれた地域の方々。子どもたちは、感謝の心をずっと持ち続けて成人している。

萩野小学校は、“子どものためなら”と保護者、祖父母、地域の方々が、子どもの成長をあたたく守ってくださった素敵な学校でした。そこに勤務した私は、とつても幸福でした。

子どもたちと同じように、私も、感謝する心をずっと忘れない。本当に、ありがとうございます。



竹馬

私を育ててくれた萩野小学校

中村 庄樹

私が萩野小学校にお世話になったのは、平成十一年度から平成十八年度までの八年間です。長いようですが、あつという間の八年間で、子どもたちは、素直で明るく、何事にも一生懸命に取り組む子どもたちでした。赴任して二年目に初めて一年生を担当したときには、前の年に担任していた子どもたちが一年生の教室に来て、「先生、おつ



リンゴ狩り (平成 15 年度)

かねぐねえが？」と一年生に聞き。私には「先生、一年生だいじょうぶ。やさしくしたほいいよ。」などと私を心配するような優しい子どもたちでした。また、一年生から六年生まで混じって、校庭でサッカーやキックベースボールなどをしていました。男女関係なく先輩は後輩の面倒を見て、先輩は先輩の姿を見て学ぶという、子どもたち同士の良い関係がありました。

保護者の方々は、みんな仲が良く、いろいろなことを子どもたちや私たち

にも体験させてくれました。感動したことの一つに、阿部さんのリンゴ園での、リンゴのお花見があります。六年生の学年 P T A 行事で行いました。広いリンゴ園に鮮やかな薄ピンク色の花が満開に咲いている光景は、桜の花以上だったのを思い出します。秋には、袋いっぱいリンゴの収穫体験もさせていただきました。もぎたてのリンゴの味も忘れられません。その他にも、親子で花山自然の家での一泊の合宿や焼き肉大会、流しそうめん、スキーやそりなど、他にももつとものとたくさんのお思い出を残してくださいました。

そして、子どもたちが小学校を卒業しても、中学校の卒業式の日、高等学校の卒業の時、成人式の時と節目節目に声をかけていただき、子どもたちの成長の様子を、みんなで一緒に喜び合えることは、有り難いことです。私だけでなく、萩野小学校へ赴任してきた教員は、皆が感じていることです。

萩野の地域は、温かく、そして、楽しく、私たち教職員も育ててくれました。萩野小学校が、今年度をもって閉校してしまうのは残念ですが、この地域の方々の心意気は、永遠に不滅です。ありがとうございます。萩野小学校。これからの新しい未来を築いていきましょう。



宿場町にて

氏家 伸

萩野小学校に赴任が決まり、学校へ行ってみると、今までにはない雰囲気が漂っていました。ただただ感じたままに「なんかいいな。」と思ったのを覚えていきます。

その時は何の知識もなく、ただ駅前前の小学校くらいにしか思っておりませんでした。しかし、そこに歴史があったのです。高学年を担任することが多かった私は、総合の学習の時間に、歴史探訪を子どもたちと一緒にやりました。

本陣、造られた駅前、学校裏の亜炭の採掘跡、偶然見つけたカタクリの群生地、床屋のおじいさんからお話を聞いたり、宿場町としての街のつくり等、私自身がとても楽しく学習することができました。当時の子どもたちと街を歩き、人に聞き、とても充実した時間を過ごすことができました。私の財産です。



6年生集合写真（平成13年度）

萩野小学校を離れて十年以上が過ぎましたが、当時の子どもたちと会う機会がありました。タイムカプセルを開ける時や、子どもを連れて買い物をしていたり、旅行中に偶然に会ったりしたこともありました。教え子の成長した姿を見ることができてとてもうれしかったです。「あ、先生。」と気軽に声をかけてくれたこともうれしかったです。歴史のある有壁、素直な子どもたち、保護者の皆様、そして地域の方々に支えられた四年間でした。学校という形はなくなりませんが、有壁の歴史は変わりません。これからも、ふらっと訪れてみたいと思います。

閉校に寄せて

宮澤 喜久美

閉校記念誌の原稿依頼が届き、懐かしい方々の名前を目にし、時間がタイムスリップしたように記憶がよみがえり始めました。

私が萩野小学校にお世話になったのは、ちょうど二十一世紀が始まった平成十三年度からの八年間です。それまで大きな小学校や中学校しか経験のなかった私は百人に満たない小規模校への赴任に戸惑っているというのが正直な気持ちでした。

でも、そんな私の危惧を払拭してくれたのは、着任式での全身からあふれ出るような元気で大きな歌声でした。『できる、できる。やればできる！』を合言葉に、いろいろな行事に一生懸命取り組む子供たち。どの行事でも全員が主役です。一人一役以上に係活動があることも普通でした。一人の力が占める割合が本場に大きいのです。水泳が嫌いだったか、陸上が苦手だとか言っていたなどいられません。上学年になれば全員選手です。養護教諭の私も一緒に泳いだり走ったりしました。市の陸上大会や水泳大会でも大きな学校の選手と同じように萩野小学校の子供たちが入賞し、皆で喜び合いました。

また、学校給食が始まったときは、家でよそい方の練習をしてきた子もいました。給食試食会では、初めての給食に子供より感激している保護者の方もいました。弁当の良さと給食の良さ。どちらも長短はありますが、皆で一緒に食べる楽しさに変わりはあり



水泳大会（平成15年度）

ませんね。

長い間教員をやってきて、学校が一つの大きな家族のような雰囲気のところは初めてでした。萩野小学校の子供たちや保護者の方たちが大好きで八年間もお世話になってしまいました。

その他にも、おじいさんやおばあさん、福寿会の皆さんとの思い出もたくさんあります。バス送りをしていると、「これ食べてみらいん。」と漬物や野菜を頂いたり、地域のいろいろな話を教えて頂いたりしました。植木の手入れや、畑の世話など、当たり前のように協力してくださる地域の方たち。他所の学校に行くと、それがどんなに恵まれていたことが分かります。

今回の学校再編で萩野小学校はなくなります。私の母校もなくなりました。大変寂しいことです。でも、その思い出が消えてしまうことはありません。同じ時に同じ場所で培われたかけがえのない宝物がいっぱいあります。どうぞ、これからの今を生きる萩野小学校の皆さん。新しい学校を萩野小学校のような素晴らしい学校に作り上げててください。

『できる、できる。やればできる！』応援しています。

閉校に寄せて

高橋 聡子

萩野小学校には七年間在職しました。七年の間には、印象的な出来事が多くありました。萩野小学校は私の第二の母校とも言える思い出深い学校です。

初めての音楽主任で、校歌のピアノ伴奏を猛特訓して弾いたこと。おかげで家族みんなが萩野小学校の校歌を歌えるようになりました。プールで一緒に泳いだり、休み時間には校庭を駆け回ってサッカーを



七夕飾り（平成20年度）

したりもしました。遊びの中で見える子供たちの新たな一面。ラケットベースボールにも熱中しました。

高学年、特に六年生担任が多く（七年中四回）、修学旅行の引率や児童会行事を六年生みんなで行きつけ、毎年その年ならではの思い出深い行事ができました。

子供たちがとても素直で、我が子のように愛おしく、いろいろな場面で心癒され、ともに感動を味わいました。ました。「打てば響く」子供たちで、こちらがきっかけづくりをすると、それに乗っ

て自らどんどん伸びていける子供たちでした。保護者の皆様のすばらしい協力体制、あたたかい雰囲気も大好きで、毎日通勤し、子供たちとふれあうのが楽しみでした。

萩野小学校を離れて早三年目。現在は栗駒中学校に勤務しています。小学校での子供たちとかかわった経験を生かしながら、一歩成長した子供たちとともに過ごす毎日です。萩野小学校で得た多くの宝物を大切に、校種は違っても子供たちの目線に立った指導を心がけています。閉校しても萩野小学校で過ごしたあの日々は私の宝物です。地域の皆様、保護者の皆様、そして子供たちから多くのことを学ばせていただきました。改めて感謝申し上げます。

皆さんとずっとつながっていたいと願う私です。



ありがとう 萩野小学校

中村 ルミ子

栗駒山の恵みの豊かな自然に囲まれ、本陣や貴船神社、五輪塔などの史跡の残る町。穏やかで親しみのもてる父母の方々に、地域の人々。そんな中で育てられた明るく素直な子どもたち。お世話になった萩野小学校での八年間を振り返ると、まずそのことが思い浮かんできます。着任後の始業式で、私が担任として紹介されたとき、整列した子どもたちの中から「よろしく！」と手を振って声をかけてくれたAさんのことは、今でも忘れられません。学年の枠を超えてなかよく校庭で遊んだり、下級生の世話をしたりなど、優しく思いやりのある子どもたちでした。行事では、少人数ながら堂々とした姿で演じ、競技し、素晴らしい演技や記録を残しました。やればできる、自己ベストに挑戦しようという意欲にあふれていました。そのような子どもたちの前向きな姿に私も励まされた毎日でした。



JRC委員会（平成19年度）

また、PTAのみなさんの協力も素晴らしいものでした。歓迎会では会員数以上（ご夫婦で参加）の大歓迎ぶり、仮装した踊りや謡いが披露される新春懇親会には、たいへん驚かされました。学年行事では、花山まで仕入れた氷を運び、本格的なかき氷とドラム缶で焼いたピザを味わったこと、杖を借りて登った室根山登山と満天の星空など、どの学年でも父母のみなさんのアイデアと協力は、子どもたちに小学校生活での思い出を残してあげようと

いう熱意がうかがわれました。私にとってもそれは楽しい思い出のひとつです。

ある日、高校に入学したばかりのBさんのお宅に伺ったときのことです。玄関先で立ったままおうちのの方と話をしていると、Bさんが出てきて、正座をして「先生、お久しぶりです。」と挨拶をしてくれました。そして、帰りがけには「先生もどうぞお元気で。」と声をかけられ、その対応には本当に感心してしまいました。この萩野の地で慈しみ育てられた心は、きっと大人になってどこに住んでいても、周囲の人に受け入れられ、温かく染みわたっていくことでしょう。

百四十一年の歴史に幕を閉じ、萩野小学校がなくなるのはたいへん寂しいですが、新しい金成小学校での子どもたちの活躍と萩野地区のますますのご発展を心から祈りたいと思います。



花山キャンプ（平成20年度）



寄稿
 『地域の方々』

佐藤 裕介	山田 彰	伊藤 利美	佐藤 弘一	佐藤 小弥太	菅原 明美	菅原 初江	菅原 典明	熊谷 明俊	菅原 祐	小野寺 赴	小野寺 栄悦	佐々木 伸次	小野寺 数之	佐藤 亮	阿部 隆	佐藤 有一	佐藤 鐵太郎	佐藤 健彦	菅原 勝夫	小林 吉夫	三浦 良和	平塚 邦郎	大場 敬市
.....
62	61	60	60	59	58	58	56	56	55	54	54	53	52	51	51	50	49	48	47	46	45	44	44

(有壁本陣当主)

(たてやま安全・安心見守り隊隊長)

(たてやま安全・安心見守り隊隊長)



萩野小学校の思い出

大場 敬市

私が萩野小学校に入ったのは昭和十年です。一年生の時は国語で字を習い、算数では物のかぞえかたを勉強し、道徳では善悪の判断ができる様に教育されました。同級生は三十六人でした。それから七十八年がたち、現在は八十四歳になりました。

当時の小学校には校庭の真中にもみじの木が一本立って有りました。又、正門の所に太い柳の木が二本有りました。校庭の東側にふじ棚が有り、その前にテニスコートが有りました。

当時有壁には館山クラブという運動クラブが有り、地区の人達が日曜日には野球やテニスを楽しんで居りました。私が小学生だった頃の運動会は、第二小と一緒に駒ヶ森でおこないました。駒ヶ森というのは下片馬合の新田の前の山の上で、広い平な場所が有りそこで行いました。

又、勉強は複式授業といって、一年、二年が一つの教室で、又三年生と四年が一つの教室で、五年と六年が一つの教室で、片方が習字の授業の時は別な学年は算数と、同じ教室で勉強して居た時もありました。小学校の西側に奉安殿が有り、毎朝の朝礼の時は最敬礼をしました。そこから更に西側に公会堂というホールが有り、雨の日の体操や学芸会などが行われました。

私は六年生の時迄しか居りません。在校中は先生方の熱心な指導で旧制一関中学校に合格できました。在校期間は六年間ですが、私の人生に於いて忘れる事の出来ない思い出で有ります。今は同級生も少なくなりました。

又、息子が在学中にPTA会長をつとめ、その時、初めて水泳プールを造りました。又、学校の敷地の拡張もやりました。今度、学校が閉校になると聞いて感慨無量なものが有ります。何も

わからなかった私が基礎教育で総て教えられ、どこに行っても通用する人間になりました。それは小学校に於ける教育がすばらしかったからだと思えます。

私は六年生の時、優良健康児童の表彰を受けて朝日新聞社からメダルを貰いました。

思い出は沢山有りますが、閉校に当たり思い出したまま書きました。

萩野小学校の思い出

平塚 邦郎

昭和四十四年頃、片馬合分校で給食が開始され、当時魚屋を営んでいた私は、食材の納入を依頼され、お引き受けしたのが萩野小学校との付き合いの始まりでした。

分校の給食は、五年間程で終わりましたが、当時の先生方には大変お世話になり、最近まで手紙を通じて、お互いの近況を報告し合っていました。

また、昨今の学校ではないことですが、昔の萩野小学校では宿直制度があり、当時当番のの先生が学校に泊まっていました。代行宿直を依頼された事もありました。週二回学校に泊まり、夜の木造校舎を懐中電灯一本の灯りだけで巡回しました。木枠の窓が風でガタガタと揺れる音にビクリとし、雷雨の時は、稲光と雷鳴に耐えながら見回った事を今でも覚えていています。

私自身、萩野小PTAには昭和五十一年から入会し、昭和六十三年までの十二年間お世話になりました。廃品回収や収穫祭といったPTA行事、部会を通して多くの会員の皆さんと活動を共にしました。P



第1回青年学校生徒植林作業実況（昭和11年）

T Aバレーボール大会では、金成町P連大会で何度か優勝し、栗原郡大会に出場することができました。胸に萩野小のマークが入ったユニフォームを着用し、緊張しながら試合に挑んだ事を思い出します。

私がPTA会員として在籍した間には、萩野小野球スポーツ少年団が結成され、子供たちは一生懸命練習に励み、各大会に参加しては優秀な成績を収めていました。昭和五十九年三月には、現在の校舎・体育館が落成され、PTA会員全員が児童たちと共に旧校舎からの引越し作業を行いました。

また、書道教室や菊花鉢植教室といった児童たちの祖父母や地域住民との交流も積極的に行われていました。本当に充実したPTA活動だったと、今でも心に思い浮かびます。

萩野小学校の閉校は、本当に寂しいことではありますが、PTA会員の皆さんと地域住民の皆さんが築いてきた萩野小学校の歴史は消えることはありません。

新しい小中一貫教育校においても、萩野地区のPTA活動が充実し、皆さんの活動の場が広がることを心より期待しています。

我が母校の閉校に思う

たてやま安全・安心見守り隊隊長

三浦 良和

この度、我が母校である萩野小学校が輝かしい百四十一年の歴史に幕を引く事となりました。

萩野小学校は明治六年四月、有壁観音寺を仮校舎とし有壁小学校として創立され、昭和二十二年萩野小学校と改称され現在に至ったと聞いております。単に百四十一年と云いますが大変な時間の積み重ねとしみじみ感じています。この間多くの卒業生が学び、遊び、そして今日に至ったこと、時代の流れというか、歴史という大きな川を泳いでいるような気がします。私も現在六十六歳になりますが、私を含め多

くの地域の皆さんが親子四代に渡りお世話になった萩野小学校、思い出がいっぱい詰まった小学校、当時の事が走馬灯のように思い出されます。時の経つのは早いもので毎日毎時間が新しい歴史の積み重ねであり、止まることはないという事を思い知らされます。

少子化が進む中で小学校としての教育のあり方も様々な変化を遂げてきており、どの様にして学校の特色を出していくかということが強く問われる時代になって来ており、この度の小中一貫教育校も止むなしかなと思われれます。新設される学校は新しい学校ならではのフットワークの軽さを生かし、ユニークな試みに取り組まれている事と私達地域住民も注目しており、今後、教育委員会としての高い教育意識、先生方の努力向上に期待が寄せられております。百四十一年の歴史を閉じてまでの決断、新たな試みとしての小中一貫教育校、どうか今までの良い伝統を踏襲しつつ、新しい風を取り入れながら子どもたちの健やかな成長のために学校としては何が出来るのかを真剣に考えていただき、さらなる学校環境の向上を目指し一分一秒、歴史を刻んでいくて頂きたいと願っております。

最後になりますが「たてやま安全、安心見守り隊」として一言。「たてやま安全、安心見守り隊」が発足してから六年が経ちますが、この度の小学校の閉校に伴い、平日の日中帯は小学生のいない萩野小学区になるわけですが、子どもたちの登下校時にはこれから先予断を許さない不安要素が多く出てくるものと思われれます。私達「たてやま安全、安心見守り隊」これからも登下校時の見守り、青パトでの巡回を継続し、子ども達が安全に登下校し、安心して教育を受けられるよう勤めて参ります。地域住民の皆様も一人一人が防犯意識を持ち、地域から犯罪をなくす、地域に犯罪を持ち込ませない取り組みにご協力を頂きたいと思えます。防犯は地域住民の協力なしでは成し得ません。

「たてやま安全、安心見守り隊」これからも、地道な活動を通し萩野の宝である子どもたちの安全、安心を見守っていきますので地域の皆様方のご協力の程宜しくお願い申し上げます。



母校の思い出

たてやま安全・安心見守り隊隊員

小林 吉夫

我が家から見える風景は学校と駅の階段と駅前の町並みです。萩野小学校新旧校舎は、親・私・妹・子・孫四代お世話になりました。幼き日々の萩野小学校は学び場、遊び場でした。

有壁地域は水質が悪いところが多く、幸い有壁八坂、前沢田付近が昔から良かったようです。学校に井戸はありましたが飲み水には使えなかったので、用務員さん（当時は小使いのおばちゃん）が数十年間毎日駅前の消防車庫前にあった飲料水用の水槽タンクからと新町の清水から毎日十五、六回位かつぎ棒でかついで、用務員室の水がめに用意し、それを数百人の児童が飲みました。

さらに給食や掃除用の水としても使っていました。学校に水道を引いたのは昭和三十年後半頃だと思えます。生活する上において一口の水でさえ用務員さんの肩にかかっていました。今思うと大変さも考えず水を使っていた様な気がします。脱脂粉乳、味噌汁は用務員さんに作ってもらい、味噌汁の野菜は学年ごとに家から持ち寄っておいしくいただきました。小使いのおばちゃんには感謝いたします。

たてやま子供会は昭和三十一年に活動が始まり（私が六年生の時）、有壁一区には上原と駅前と大目前の三つの子供会があり、夏休み期間中六年生をリーダーとして、子供達だけで活動をしました。私は大目前子供会で、活動場所は五十瀬神社で子供達は十五人程でした。親の代表をしている神社隣のお母さんにお世話になり、粉末のインスタントのメロンソーダジュースやスイカなどいろいろごちそうになりました。役所に勤務し、初任地は萩野診療所勤務で、医師は金成町内小中の校医でしたので、約十数年間町内の学校の予防接種や内科検診など一緒に巡回しました。

昭和四十一年六月、萩野小学校の六年生が修学旅行で腸チフスにな

り、当時郡内には救急車も無く、搬送先は一関市の旧磐井病院（大槻通）に数回搬送しました。栗原消防署に伺ったところ栗原広域消防の発足は昭和四十五年二月で、当時初めての救急車が一台、四十六年の四月に配置されたと言いました。

その後、人事異動で中央公民館勤務となり、すずむし号（移動図書館）で金成町内の小学校を毎月一回、本の貸し出しで巡回しました。小学生とのわんぱく塾では、唐桑町と海、山交流のサマーキャンプをしたり、海上保安庁の巡視船蔵王に乗船体験、秋田県須川湖と栗駒山でのキャンプ、健康広場での縄文体験や親子陶芸教室をしたり、町内小学校の子供たちと夏、冬休みや休日を利用した行事に二十年間関わり保護者の方の中にも参加された方もいると思います。萩野公民館も兼務してましたので地区民運動会では二十年間、特に萩野小学校には、施設はもちろん運動会用具やあらゆる物を借用し数十年間大変お世話になりました。萩野小学校百四十一年の歴史の半世紀以上、わたしにとって関わり合いがあり大変身近に感じています。

現在は、たてやま安全・安心見守り隊員の皆さんと毎日活動しています。元気のいい朝の挨拶にパワーを頂いて子供たちが安心して通学できるよう見守っていききたいと思えます。萩野小学校児童の皆さんには学校で学んだ多くの知識、経験を生かし友達と仲良くして更なる活躍を期待します。

百四十一年間大変お世話になりました。



平泉金色堂（昭和31年度）

萩野小学校の思い出

菅原 勝夫

『今は昔』 小史が昭和三十四年に萩野小学校へ入学した時は上片馬合分校を含め五十一名（卒業時は転入者一名加え五十二名）。もつと多い先輩方もおられるが、現在と比べれば天文学的人数である。校舎は木造、二人用の机も椅子も全て木製で、諸所に残された落書きや見事な彫刻が歴史を物語る。蝶番のついた机の天板を持ち上げては教科書やノートを出し入れた。床も当然板敷で、水拭きをさせられたが、米糠入りの布袋”で磨いたこともある。たまに真面目に一か所だけ念を入れて磨くと、そこだけ良く輝き自己満足したものだだった。

そんな床と初な心に汚点を残したことがある。一年生の六月頃だったか、二時限目の休み時間にトイレに行かず、三時限目の中程から我慢していた。終わりの礼で机の脇に立った時、我慢できず漏らしてしまった。先生は最初びっくりされたようだが、やがてにつこり微笑んだ後、床を拭いて掃除を下さった。当時は恥ずかしさだけで一杯

だったが、今は感謝の念だけが残る。その失敗は後に発生が無く、活かされていく様だ。今ふと感じたが、クラス内で小史をけなす人もからかう人も居なかった。当時は陰湿な虐めにあったことも見たことも聞いたこともなく、たいへん平和な時代だったようだ。

ラジオ体操（昭和30年代）

確か三年生の頃からか、昼食時に金属製の横から見ると台形を逆さにしたような丸い器で脱脂粉乳を溶かしたものを飲んだ。給食の初期段階



運動会（昭和30年代）

で、成長期の粗食対策が目的であった。不味いという人も居たが誰も残す人はいなかったと思う。

それからまだある。毎年五月中旬には「田植休み」があった。天候や農作業の進み具合を見て日を決めたのであろうか。一時間目の勉強が終わってから、「家に帰って田植を手伝ってください」という場合もあった。地域では「結い」という仕組みがあって近所の人が集まり、今日は誰さんの田んぼ、明日は誰さんの田んぼというふうにして田植

えをして回る。子供も手伝うから近所の人と仲良くなれるし色々な昔話や噂も聞ける。まさに良い校外教育の場でありコミュニケーションの機会でもあった。お手本は何と言っても正面玄関脇に祭られている薪を背負って本を読む二宮尊徳先生である。こうした手伝いを通じて米や野菜の基本的な育て方を体験したこともその後の人生で役立っている。

「♪ 何時の事だか思い出してごらん・・・」。人生初期の小学校時代、思い出の筆頭である校舎に関連し懐古が尽きない。木造の旧校舎が新校舎に建て替えられたが、それも閉校になる。少子化や限られた予算、時代の流れや発展の過程で仕方ないことではあるが寂しい。余談になるが、萩野中学校も金成中学校に統合されて閉校になり校庭跡だけが当時を偲べる。因みに高校も統合になり跡形もない。

思い出は多くの卒業生の胸の中で個々に生き続ける。それが糧となり人生の中に取り込まれ、形を変えながらも良き処が継承されれば幸いである。又、閉校になっても卒業記念樹が大切にされ、生き続けていくことを願うしだいである。



萩野小学校と我が家

佐藤 健彦

萩野小学校が百四十一年の歴史に幕を閉じるという事は、本当に残念で、また寂しいかぎりではないです。

我が家では代々、萩野小学校にお世話になってきました。そして、それぞれの代にそれぞれの役割や思い出をたくさん、つくっていただきました。

祖父（平成十六年度卒）については、こんな事が思い出されます。父や叔母達が在籍していた頃、長年に渡りPTAの役員をやっていた事とか、現在の校舎建設の時、実行委員会委員長を仰せ付けられ、落成式まで漕ぎ着けた事などを生前、何かの機会に話してくれたのを記憶しています。



修学旅行（昭和56年度）

父（昭和二十九年度卒）の思い出は、旧校舎で、右翼側の狭い校庭でやった野球の事や、裏山で大木に絡まった藤の蔓でターザンごっこをやった事などを聞いておられます。

私（昭和五十六年度卒）自身は、息子が六年生の時、皆様方の協力をいただき、PTAの役員を勤めさせていただいた事や、子供の頃は、よく忘れ物をして休み時間に走って家へ取りに戻った事とか、学校裏の田んぼで、泥だらけになりながら、タガメやヤゴを取った事など思い出されます。



学芸会（平成16年度）

妹（昭和五十九年度卒）は六年生の時に、現校舎での生活となり、立派な校舎で思い出深い一年間を過ごし、卒業したという事を聞いた事があります。

娘（平成十六年度卒）は陸上をよく練習し、六年生の時、市の陸上大会に八十mハードルで優勝した事とか、学習発表会で劇を演じている最中に、つい感極まり、本当に涙を流した事などが思い出されます。

息子（平成十九年度卒）は二年生の前半から萩野イーグルス（スポーツ）で野球を始め、平日の放課後は、父のコーチの下で練習し、六年生の時、秋季大会で地区予選、県大会と五試合を勝ち進み、県ベスト8に入った事や運動会の時、水戸黄門一行の衣装で、応援合戦をやります。卒業式で、将来の目標は時代劇の役者だと言った事などが思い出されます。

この様に我が家では、それぞれの代に懐かしい、そして楽しい役割や思い出を沢山、つくっていただきました。この文章が、皆様方の目に入る頃には、静けさに包まれた建物だけとなっているかと思いますが、私達、子供達共に、これからの人生を萩野小学校で培ってきた事や思い出を大切にしながら、これからの人生を生活していこうと思っております。

萩野小学校、ありがとうございました。

木造校舎時代の萩野小学校

有壁本陣当主 佐藤鐵太郎



集合写真（昭和10年度）

私の学んだ萩野小学校の木造建築校舎は、昭和五十九年に、現在の鉄筋コンクリートの校舎が完成し取り壊されました。

昭和八年に小学校に入学した時は、建て替えしたばかりの真新しい木造校舎で、私は第2回目の入学生でした。

私が学んだ木造校舎と現在の鉄筋コンクリートの校舎には大きな違いがあります。

今の鉄筋コンクリートの学校と言うのは、完成した時が一番新しいのであって、日が経つにつれコンクリートはひび割れし劣化が進んでいきます。ところが木造校舎と言うのは、出来た時が新しいのではなく、三年なり四年なり子供達が生かす事によって、床の輝きが増し、滑りがよくなり木造の美しさが際立っていくと言うのが大きな違いです。

萩野小学校は、有壁の駅から徒歩五分で通える小学校と言う事で、宮城県でこのような地の利を得た学校はどこにもなく、当時非常に有名になりました。このような恵まれた環境の中、萩野小学校は国語教育において宮城県下でも有数の指定模範校でした。

当時、国語教育実習と言う事で鉄道沿線の学校の国語の先生が集まり、研修授業が行われておりました。岩手県の前沢に国語教育の有名な先生がいらっしやって、前沢、平泉、山目、花泉、油島、日形、老

松、若柳、石越、新田、瀬峰など沿線の宮城県北岩手県南の多くの学校の先生方が、萩野小学校に集まり研究授業を行っていました。お昼はどこで食べていたのか記憶はありませんが、校舎の一番左側に炊事場があり、二階に畳を敷いた裁縫室があったのでそちらで食べていたのかも知れません。

午前中は研修授業、午後からは各学校の先生方の発表会があり「視学官」（当時の文部省及び地方におかれた教育行政官）の方に、「国語の本を朗読する際は姿勢を正すために、わきの下へ生卵を挟んだ状態を意識した姿勢で朗読しなさい。」と正された思い出があります。

また、当時の学校行事では運動会、遠足、学芸会などがあり、その合間合間に研究授業が行われておりました。昔は先生の人数が少なく、萩野小学校には教頭先生はいませんでした。各学級も複式学級で一年生と二年生、三年生と四年生、五年生と六年生と一緒に授業を行っていました。一年生が国語の時間だと二年生は書道の墨すりを行うなど、先生の手がからないような工夫をした授業が行われていました。ただ高学年になると複式学級では、進学するための勉強がおろそかになる為、一関の学校に転入する人たちも多くおりました。

もう七十年以上前の思い出ではありますが、今なお忘れる事の出来ない思い出です。



職員一同（昭和13年度）



思い出

佐藤 有一



奉仕活動（昭和30年代）

記憶を辿りながら思い出してみに木造校舎時代（昭和三〇年代）の話になりますが、当時の校舎は萩野支所のあたりにありました。体育館がなく校舎西側の入り口より銀杏の木の脇を通り、ギンギンときしむ渡り廊下でつながっている公民館で卒業式や学芸会は行われました。館山の上り口付近が校舎の西側裏と思われず。校庭の周りには沢山の桜の木が在り入学式には満開になり花を添えてくれました。正門は支所向かいで柳の大きさが左右にあり物凄く貫禄がありました。大運動会にはその正門近くに杉葉で造った大きな門で歓迎し、生徒と父兄、地域の方々で庭いっぱい溢れんばかりでした。なかには周りの桜の木によじ登り観戦。校舎は木造二階建、真ん中に大きな来客用玄関があり右手に校長室、左手に職員室、正面に横切る大きな長い廊下、その向こうの別棟に便所があったように思います。

暗くて臭い便所は怖い話が多く小さいながら当時はビビっておりました。長い廊下はこれまたいろいろと思いがあり、ここでは朝の朝礼などがあり、図画工作などの発表会またワルをして先生に罰として廊下に立たされた友達もありました。教室や廊下の雑巾がけも冷たい水で半端ではありません。二階に行く階段や手すりの年季の入った木

の感触は忘れません。

夏休みは上片馬合から下在まで、水のきれいな有馬川（当時はきれいでした）で水遊び、帰りは馬車に乗せられて砂利道を左右に揺られて来たのを思い出す。夏にはもう一つ、石巻渡波小学校での臨海学校があり教頭先生に引率され三泊四日の合宿、じりじりと熱い日、海水浴場までの浜独特の臭い、見たことのない魚での夕食、夜、蚊帳の中で友達と一緒に枕を共にする面白さとハプニング。秋風が吹いてくると校舎の裏山に達磨ストーブの薪集め、そのストーブもなかなか燃えづらく近くだけが暖かく、そのすぐ脇でみんなの弁当を暖かくしており、温かくなった弁当の中には匂いが漂ってくるものもあり昼時間の弁当が楽しみでした。

クリスマスの時は特別におばさんの特製トン汁が振る舞われ美味だった。また唯一、給食と言うものはアルミのお椀に当番が注いでくれる栄養満点の脱脂粉乳、飲み終えると底にコーヒー色のサラサラしたものが残る。

我々の時代は戦後のベビーブーム時代の為かクラスは二クラス六十二人ぐらいでした。全校で三百人以上。片馬合分校の生徒は五年生から本校に通い共に卒業式は公民館で厳粛に執り行われました。

「仰げば尊し」の歌を聴くと今でも学び舎、先生、友達に対する思いが懐かしく蘇ってきます。



運動会（昭和30年代）

閉校に寄せて

阿部 隆

栗原市立学校再編計画に伴い、金成地区小中一貫教育校の創設により、地域の中心として、百四十一年の歴史、私、子供達が通った萩野小学校閉校とのお話しを聞き非常に残念でなりません。

私が、入学当時（昭和三十五年～四十一年）校舎は、木造二階の正面真ん中が、玄関で二階の部分がバルコニーになっていました。バルコニーの教室は、四年生になっていたと思います。早くバルコニーのある教室になりたかった思いがありました。

又、学校と公民館が、渡り廊下でつながっており、雨の日、雪の日の体育が公民館でした。バレーボールコート一面が、ようやくとれる位の狭さで、とても全校生徒では遊べませんでした。それでも、みんなで工夫して、遊んでいたような気がします。本当に、なつかしい思い出です。

子供たちは、現在の校舎になって、三人十五年間先生方の御指導と、良い友達に支えられて成長いたしました。

その間、私はPTAの役員として、花山合宿、スポーツ大会、多くの行事に参加させていただき、多くのことを経験し、学ぶことができました。大変お世話になりました。

今後次代を担う萩野小児童として、輝かしい成長を期待し「閉校に寄せて」といたします。



萩野小学校にお別れ

佐藤 亮

私は昭和四十七年に左手の骨を折りながら正門を潜り入学した事を今でも鮮明に覚えています。閉校は非常に寂しく悲しいものです。伝統と歴史がある萩野小学校が統合により閉校になる事は自分の子供、またその子が親になり同じ学校を卒業する繰り返しの喜びがなくなるわけです。

自分の頃は木造二階建てで、隙間風だらけで冬は石炭のだるまストーブ。そのストーブで弁当や牛乳を温めて飲んだ思い出は忘れません。又、体育館も無く、講堂で体育の授業を行なった思い出。思い出せば切が無いくらいの思い出が詰まった萩野小学校。

時代の流れと一言で済ませば終わりですが、未来をつなげられないことは本当に寂しく悲しいです。

最後に我々萩野地区の子供達を巣立たせてくれてありがとう。閉校になっても萩野小学校での私達を育ててくれた学び舎をいつまでもいつまでもわすれません。

ありがとう！そして、さようなら





感謝の気持ちを込めて

小野寺数之

新しい時代の流れで萩野小学校が閉校することになりました。どこの市町村でも子どもたちの減少が進み、教育の効率化が優先され、あちらこちらで学校の統廃合のニュースを耳にする今日です。仕方のないことと思いつながら、私達を含め先祖代々、娘や孫たちを温かく包み育ててくれた母校が、なくなってしまうという現実を直視する時、何とも言えない愛惜の思いで一杯になります。

百年以上の歴史をもち、地域を支え、支えられてきた小さな学校が次々と統合されていくことの善し悪しは、一概に言えるものではありません。ただ私にとつて、この温かい土地柄の萩野地区に密着し、穏やかな環境の中で教育して頂いたことは、一生の宝だと思っています。こうして小学校時代を振り返って見ると、実になつかしい思い出がよみがえってきます。

昭和十三年四月、今は亡き母に連れられ、大きなランドセルを背負い一年生として入学しました。出迎えてくれた担任の先生は「石井先生」でした。片馬合出身で、優しい中にも凛とした威厳のある先生だったのを覚えています。腕白盛りの私をいつも温かい心で包み、手とり足をとり親切に教えてくださいました。

四年生の時、太平洋戦争が勃発し、世の中は日ごとに戦時体制が強まりました。私達は毎日奉安殿を遙拝し、出征軍人の武運長久祈願を行いました。国民精神興和奉仕日が設定され、挙国一致の精神が要求されました。私達学童は毎日奉仕作業に明け暮れ「耐乏生活」を合言葉として過ごしました。今でも鮮明に覚えているのは、授業中に突然空襲警報のサイレンが鳴り響いたことです。用意してあった防空頭巾をかぶって机の下に潜り、敵機が遠くに行くまで震えていたことが、ついでこの間のことのように思い出されます。終戦を迎え、私達は教科

書の一部を墨で塗りつぶすという経験をしました。修身や地理、歴史は授業停止され、奉安殿も撤去されました。今まで絶対とされていたものが、ことごとく崩れ去っていく、そんな毎日でした。

昭和二十三年教育基本法と学校教育法が公布され、学校は現在の六・三・三、四制となりました。連合軍の占領下では米兵のジープが学校の周りを廻って監視の目を光らせていました。ジープが来ると、物珍しくてみんなで取り囲みました。米兵は優しく親切で子どもたちを抱っこしてくれたり、ガムやチョコレートをくれたりしました。もらった物をみんなで分け合って食べたものです。

その頃の学校には遊具などなく、現在のようない鉄棒やブランコなど夢のまた夢でした。何とかしようと先生方と父兄が考え、全校を挙げて「イナゴ取り」と「落穂拾い」を行うことになりました。みんなで競い合うようにイナゴを集め、相当量のイナゴを得た時には、先生から随分と賞賛されたものです。ほめられた子供の自慢顔が今でも目に浮かぶようです。

戦時中という激動の中で小学校生活を送った私ですが、先生方の御指導と御鞭撻を賜ったお陰で、社会人として周りに迷惑を掛けずに生きてくることができました。定年退職後は行政区长として、力不足ながらも地域の世話役に没頭することができました。全て、母校の教育方針の賜物と感謝しています。

萩野小学校は開校以来幾多の有為の人材を世に送り出してきました。また、地域文化の発信拠点として、萩野地区の教育・文化の充実と発展に多くの貢献をしてくれました。

計り知れない恩恵と思いついた私たちに授けてくれた我が母校が閉校してしまうことは、本当に淋しくつらいことです。しかし、ここを巣立った多くの方々の心の中には、いつまでも『なつかしい母校』として、灯をともし続けることでしょう。改めて敬意と感謝の気持ちを表したいと思えます。

萩野小学校の思い出

佐々木伸次

この度の萩野小学校の閉校は、誠に残念であり、また寂しい限りであります。思い起こせば、私自身が萩野小学校に入学したのは、今から五十年前にもなります。遠い昔のようでもあり、ついこの間のようにも感じられます。古い木造校舎、そして校門の両脇にはモミの木と柳の木が堂々と起立し、校庭の南側には桜の木が並び立ち、子供達を見守ってくれておりました。入学式ときは満開に咲いていたことを、色あせた写真からも知ることができます。また、当時の校舎の二階中央には、バルコニーがあり、その脇に校長室があったように記憶しております。校舎とグラウンドの間にあったプラタナスが作る木陰は、夏の暑い日差しを遮る絶好の日傘でありました。職員室の窓側には二宮金次郎の石造が建っておりましたが、皆で野球をしている際に、誰かが打ったボールが頭部付近を直撃し、チョンマゲを壊したのも覚えております。さらに、体育館と教室を接続する渡り廊下も思い出が多い所でした。渡り廊下の屋根から宙返りで飛び降りたり、地区の野球大会ではバックネット裏の観戦席だったり、色々な場面で遊んだ事を記憶しております。脇にあったイチヨウの巨木も秋には、鮮やかな黄色に染まるシンボルツリーでした。

周辺にその面影を残しながら、新しい校舎となり、自分の子供達が通う事になった時は、感慨深い想いが湧いてきました。我が家には三人の子供がおり、長男が四年生になる時に、仙台から転校してきました。転校当時の児童数は、百人程度でしたが、初めからあまり戸惑いも無く、直ぐに解け込むことができて安心しました。三番目の二女は一年生から卒業まで、わずか十人の同級生でしたが、多くの思い出を作りながら通うことができました。これも子供達の同級生をはじめ、地元の方々への心の優しさが、不安を拭い去る力になってくださった事



新旧校舎

に、あらためて感謝しております。

このように、萩野小学校は、親子共々お世話になった学び舎です。校舎は新旧と違っていますが、その懐かしい思い出を刻んだ小学校が無くなるのはとても寂しい気持ちになります。地域から子供達の姿や声が無くなるようで、とても残念でなりません。少子高齢化で地域から元気が失われるようですが、これからの子供達のことを思えば、一生付き合える幼馴染や親友と信頼できる先生方との出会いは、その数が多ければずっと確率も高くなります。

地域から小学校が無くなる寂しさを悲しむばかりでなく、これからの子供達の未来のための一歩と考えることとし、卒業生は、思い出を胸に刻んで、これからも地域のために力強く生きていくことが、たとえ閉校となったにせよ、萩野小学校の地域を想う子供達の伝統を、絶やさないことだと信じております。

長い間、地域の子供達を育ててくれた萩野小学校と多くの先生方は、情熱と高い使命感を抱きながら深い愛情を注いでくれました。あらためて、心から感謝申し上げますと共に、百四十一年の伝統に生きた全ての関係者に、ありがとうございます。



萩野小学校閉校にあたり

小野寺栄悦

萩野小学校の思い出といっても卒業して四十三年が経ち記憶が薄れなかなか思い出せないが、唯一記憶にあるとすれば校舎が今の体育館と公民館の間、西側（前、郵便局）に渡り廊下を通り講堂（体育館）に行きました。木造二階作りで廊下と階段が広がったです。廊下は板張りで『廊下は走るな、静かに』と表示してあるが板なのでキシム音がしました。教室は一、二年生は一階で三年生から二階でした。教室は広く真中に石炭を焚くダルマストーブがあり、冬場はダルマストーブの周りに弁当を温めた記憶があります。給食など無く六年間持ち弁当でした。でも冬場に成ると温かい味噌汁を食べた記憶があります。現代のように冷暖房設備など無く、夏は暑く窓全開、冬は寒かったけれど教室は温かかったです。トイレは一階だけだったので休み時間には並んだ記憶があります。

小学校の行事は、春は小運動会、秋は大運動会と年に二回運動会がありました。それから秋は学芸会、講堂で朝から夕方まで一日でした。その昔講堂の二階が幼稚園で俺はそこに通園しました。

学校以外では下在、新町、中町、本町それぞれの部落で野球チームを作り毎日放課後校庭で試合をしました。（俗に言う草野球）メンバーが不足の時は多いチームから借りて試合をしました。部落のチームですから先輩後輩入交ってました。なかには、兄弟でチームに入りミスするとよく兄弟喧嘩が始まりプレーを中断して喧嘩が終わるのを待ってました。

小学校時代はプールが無く水泳大会などありませんでした。町で行う水泳大会もあります。夏は有馬川で泳ぎました。片馬合と下在に泳ぐ場所、アゲツパ『川を堰き止め田んぼに水を引く所』が有りまし

た。夏休み前に地区の親たちがアゲツパの掃除をしてくれました。水質が良いのか魚が多く素手で取った記憶があります。大人たちがウナギを取る所を見ました。今はほとんど居ないと聞きます。夏休みの水泳は親たちの監視の下、毎日川に行き泳ぎました。堤（池）で泳いだ事もあります。

秋は、友達と山（里山）に入りアケビを取って食べました。他の友達に取られる前に見つけると一個位残して殆ど取ってました。自分たちが全部食べられないので後輩たちにもあげました。現代は季節に実る山の物を子どもたちは食べたことがないと思います。小学校時代は親が子供の遊び相手をしてくれないので、自分たちで遊びを考えました。

時代が変われば少子化で子供の数も少なくなり学校が閉校或いは統合をせざる負えない事になると思いますが、母校が無くなるのは寂しい思いで残念です。高校、小学校が無くなり俺の母校で残るのは金成中学校だけです。

萩野小学校

小野寺 赴

校門入ってスグの所におおきな柳の木があり、その柳の木からその子どもが落ちてくる。校舎の裏には気持ちの悪い謎の卵があったり。（調べてみればサンショウウオの卵）。校舎は木造二階建てで中に入らなくても教室が分かるように一年、二年、と外壁に表示してありとても親切。私の中の萩野小学校です。

思い出せば色々なことがありました。入学式当日ブレザーに、白いタイツ半ズボンで式に出た私、帰りに校門を出てすぐに転んでしまい、下ろしたてのタイツに大きな穴を開けてしまったこと。プールに鯉を放流しての釣り大会、魚釣りには自信があったのですが、一匹も

釣れずガツカリしたこと。みんなで基地を作ろうと、学校の前の有馬川に木片を集めて作ったのは良かったのですが、すぐに解体命令が出されその日のうちに壊した事、などなど。

それらの中で一番先に思い出されるのが、読書感想文を書いたときのことです。本の題は確か（かえるにおへそはなぜないか）だったと思います。その頃読む本といえば図鑑のような、読むというより見るといった字の少ないものでした。読んだ本を持つてくるようにいわれ、見せた時とても驚かれたのを覚えています。小学一年生の選んだ本なのでから当たり前といえは当たり前なのですが・・・毎日毎日授業の終わった教室で先生と二人で編集をし、最終的には休みの日に先生が家まで来て仕上げしたと思います。なのでなおさら印象に残っているのだと思います。

この度統合に伴い萩野小学校という校名はなくなってしまうですが、過去を振り返ったとき必ずそこにあるものとしていつまでも私の中にあり続けることでしょうか。

One For All

菅原 祐

「萩野小イーグルス」は、少年野球を通して、子供たちの健全育成を目指し、挨拶・礼儀・チームワークの大切さを教え伝える事を目標に活動してきました。

数多くのOBがおり、高校野球で甲子園のマウンドに立った人、神宮で四番を打った人、社会人で日本一になった人、指導者としてチームを率いている人。還暦に近い先輩方も、地区レクでバットを持つと童心に返ってフルスイング！翌日の仕事を気にしない全力プレー！年間百三十試合もやった年や、女の子が活躍した世代もありました。私も「萩野小イーグルス」のOBです。野球だけではなく、試合と



第21回鶯沢町体協旗野球大会（平成12年度）

試合の合間にカニ取りに連れて行ってくれた松館監督、「ホームランってこうやって打つんだぞ！」とワラ屋さんまで飛ばして見せてくれた本町の阿部さん、二十歳の私が練習に行った際、私の本気ボールを怖がらずに踏み込んで来た当時六年生のヒロタカ君には驚かされました。私が知っている「萩野小イーグルス」はごく一部ですが、携わってこられた皆さんそれぞれに、それぞれの「萩野小イーグルス」があり、みんな「萩野小イーグルス」で培われ、受け継がれて来ている「伝統」があるのだと思います。萩野小学校に「萩野小イーグルス」あり！でした。

私が「萩野小イーグルス」の監督をさせて頂いたのは二年前の事でした。各種大会の過去の優勝チームに「萩野小イーグルス」の名前が多数あり、昔からの付き合いで大会に招待されたり、栗原でも一目置かれた存在だったように感じていました。金成大会や、萩野小グラウンドでの練習時など、地域の皆様から温かいご声援、ご協力を頂き、本当に地域の皆様に支えられているチームなんだと実感する事が出来ました。本当にありがとうございました。

二〇一三年。旧金成町の野球スポーツ少年団チームが合併し「金成フェニックス」が誕生しました。団員不足、学校統合の理由があったにしても「萩野小イーグルス」を存続する事が出来ませんでした。本当に申し訳ありませんでした。

現在「金成フェニックス」でも萩野の子供たちが活躍しています。場所&チーム名は変わっても「萩野小イーグルス」で教わって来た「One For All」を引き継いで行ってもらいたいと思いますし、私自身も応援して行きたいと思っています。引き続きのご声援、よろしくお願い致します。



ありがとう萩野小学校

熊谷 明俊

今回この閉校記念誌の依頼を受けた際に、当時の小学校生活を思い懐かしく感じました。私の六年間は、常に落ち着きがなく校舎の中や校庭を全力疾走で走り回り、先生に怒られたりしましたが、今となれば良い思い出ばかりです。

とにかく体を動かす事の好きな私は、体育の時間が一番楽しみで、体育の授業がある日は朝から楽しみで仕方ありませんでした。夏休みになれば毎日プールに通い、朝から夕方まで泳ぎ、日焼けのあとが消えない時期でした。また、兄の影響もあり二年生から始めた野球は、放課後はもちろん土日も、思い出の詰まった校庭で野球に打ち込む毎日でした。そんな野球で得た明るく元気で前向きな姿勢は今の仕事でも活かされおり、初対面の人ともすぐに打ち解けることが出来る様になりました。これも小学校の頃からの経験の積み重ねだと思えば本当



に多くの貴重な経験でした。
また運動会では、応援団長に立候補し赤組の勝利を必死になり声を枯らしながら応援しました。学芸会では萩野小学校伝統の御神楽を皆で大成功させるために練習し、地域の方々の前で披露した際には大変好評で多くの拍手を頂き充実感で一杯になり感動したことを今でも思い出されます。

そんな思い出がたくさん詰まった萩野小学校が閉校になることを知り、今でも通勤途中に元気よく萩野小学校に通う子供達の姿を見て元気をもらっていました。

が、その姿を来年から見る事が出来ないかと思うと、とても寂しい気持ちになりました。私は現在二児の父となり、息子たちには是非とも萩野小学校でたくさん思い出を作って欲しかったです。しかし、少子化などの社会的問題により小学校の統廃合は避けられないものだと思います。次世代の子供達には、新しい学び舎で新しい伝統と思い出をたくさん作ってもらいたいです。私にとって萩野小学校時代はいい思い出ばかりです。当時の先生方はとても迷惑したとは思いますが、今の私があるのは小学生のときに培った経験がとても大きいです。学校がなくなるのが、悲しい半面これから創られる新しい伝統がとても楽しみでもある私があります。私の子供や知り合いの子供たちがこれからの金成を背負って行くのかと思うととても楽しみです。

最後になりますが、萩野小学校と当時の先生方にありがとうございますと私は伝えたいです。私は萩野小学校を忘れません。

三度目の閉校式

菅原 典明

悲しい事に、私は、三度も小学校の閉校式に立ち会う事になってしまった。一回目は古い木造の萩野小学校。二回目は片馬合分校。そして今回。

どの校舎もそれぞれその時代、時代に思い出があり、その情景は今でも鮮明に覚えている。片馬合分校は、学び舎というよりは、友達と集団生活をして遊んでいたという思い出。花を植えて観察したり、裏の山に入って探索をしたり、用務員のおばちゃんには、爪が伸びて真っ黒になっているのが汚いと切ってもらったり。すごかったのは、近くの崖の上から仮面ライダーのまねをして、バク宙をして遊んだ事。高さ二メートルもある斜面！よく怪我をしなかったものだと感心する。



片馬合分校

しかも一品だけのおかず。いっぱい詰めて蓋をするものだから、隙間から、ムニユツとあふれ出ている。弁当を包んでいる新聞紙は、弁当箱の形に模様がついたまま一月以上使った。ちなみに、ぴいちゃんのレパートリーは、卵焼き、コロツケ、餃子の三種類しかなかった。

五年生のある日、真面目な私は、どうしても合点がいかない（今となっては原因は思い出せない）出来事があり、S君とグーでの殴り合いのケンカをしたことがある。

四年生から、本校である萩野小学校に通うことになる。五キロ以上ある学校まで、デカイ郵便配達用みたいな自転車で三年間、雨の日も風の日も雪の日も。ただ、今でも変わらない悪い癖なのだが、ギリギリにしか家を出ないので、自転車の漕ぎ方は誰にも負けないと、自負していた。ところが、強敵がいて、下片馬合のMちゃんもまた、私に勝るとも劣らない女の子だった。彼女が家から出てくる姿を見た時、今日も急がねば！とよく思ったものだ。

本校に通うようになり、ワクワク感とドキドキ感があった。そんな気持ちで、本校にきた私達は、初めのうちクラスでは、何やらめずらしいものでも見るような目で見られていたようなのが恥ずかしかった。この頃につけられた私のあだ名は【フランケン】だった。背丈があつて、おそらく間抜けな顔をしていたのだろう。実際間抜けなのだからしょうがないが……。そして、からかわれる要因もあつた。弁当のおかず！これには、さすがの私も、ちよつと参った。当時の私の弁当の担当はひいばあちゃん。当然のことながら、ハイカラなおかずは作れない。何を食べたい？と聞かれ「卵焼きが食べたい」と言うと、一週間も二週間も卵焼きが入っている。「ぴいちゃん、卵焼きもう飽きたからコロツケにして」と言うともた飽きるまでコロツケが入ってくる。



七夕飾り（昭和56年度）

にありがとう！

この度、閉校にあたりいろいろ準備に携わって下さった先生方、現PTA、並びに役員として協力して下さいました方々に感謝申し上げます。

学校と講堂の間の渡り廊下の前だった。運動会の準備をしている最中で、六年生の先輩たちが面白がつて囃し立てるものだから、二人とも引くに引けなくなって、結局先生にこっぴどく叱られ収まった。後にそのS君とは、親友となりいろいろな冒険の旅に出ることになるのだが……。殴り合いのケンカは、後にも先にもこれが最初で最後である。

S君の裏の田んぼに水をはった特設リンクで、全カナダと全ハワイのアイスホッケーは男子全員で遊んだ。本当に楽しかったなあ。手作りのスティックは三回打ったら壊れてしまった。

校舎の廊下で男女混合の馬っこ跳びはやばかった。一番後ろと、後ろから二番目の馬が一番つらかった。一人に四人ぐらいの人が跳び乗ってくる。歯を食いしばって前の人の足にしがみついていた。

初めて見た二宮金次郎。でっかい二階建ての木造校舎。二階の窓ガラスを拭く時のスリル。石炭ストーブで温めた弁当から漂う納豆の香り。講堂で発表する学芸会では、木や葉っぱの役から、フィナーレで遠吠えする犬の役に昇格。校庭で、鉄棒から落ちて、肘を複雑骨折して三か月入院。おかげで、分数の足し算、引き算を覚えなかった。まだまだ書き尽くせないことがいっぱいある。

今の校舎では子供達がお世話になり、PTAの立場、或いは地域住民という立場で小学校に入学してから四十七年間もいろいろな形でこの萩野小学校に関わりを持って下さることを誇りに思う。そして、百四十年もの長きに渡り、何千人もの卒業生を送り出してくれた萩野小学校



萩野小学校の思い出

菅原 初江

萩野小学校が閉校することが決まり、とても寂しい気持ちでいっぱいです。

私が、四年生になった頃だと思いましたが、分校から本校に通うことになりました。自転車毎日通っていましたが、今の道と違って砂利道が多く時間もかかり、自転車もパンクする事も何度もありました。遠いなど思いながら学校に通った記憶があります。

私に通っていた小学校は、古い木造作りで、歩いたりすると、床がギシギシと音がしたのを覚えています。冬にはダルマストーブに石炭を入れ、火をつけて教室を暖かくしましたが、なかなか火がつかず苦労をしました。

また、木造作りの教室の床に小さな穴があつて、消しゴムがコロコロと転がり、穴に落ちることもありました。

遊び時間には、みんなとドッチボールや縄跳びなどいろんな遊びをしていました。とても楽しかったです。また、ソフトボール大会があると、二組に分かれて試合をした事もありました。陸上大会があると、放課後残って走り方の練習やバトン渡しの練習もしました。今思うと、とても懐かしく思います。学芸会での発表では、家族そろって食べるお弁当は、とてもおいしかったです。

今はコンビニやスーパーがあり、いろいろなお弁当を売っています。母の作った煮物とご飯のいっぱい入ったおいなりさんはとてもおいしかったです。終わってから体育館の掃除をする時など、みんなで足並みそろえて一列に並んで、雑巾がけをしました。結構きつかったです。足腰が痛くなり大変でした。今思えば、それも思い出の一つで懐かしいです。

今回、小学校の閉校の話を聞いて、いままで忙しい生活の中で、あ

らためて昔の事を思い出すことができました。時代によって子どもがだんだん減って、小学校が少なくなり、周りにも子どもたちの声が聞かなくなるととても寂しいことです。子どもたちの笑い声、話し声を聞くと家の中が明るくなるような感じがします。

もつと若い人が来て、子供が増え、昔のように大家族の時代になってほしいです。

閉校に寄せて

菅原 明美

私の小学校生活は昭和四十六年に萩野小学校片馬合分校でスタートした。児童数全部で九人の小さな分校でした。

原稿を書くため小学校の思い出の箱を開けた。中から出てきたのは、卒業文集と卒業記念の版画、学芸会の劇の台本。そして、恥ずかしくて人には見せられない「あれ」・・・

担任は家族で片馬合に赴任されご夫婦でした。今では有り得ないと思いますが、六年間もお世話になりました。何事にも熱心で特に学芸会の劇への力の入れようは半端ではありませんでした。畑の端と端に立って大きな声でセリフを言い合いそして、感情もこめる。動作も自然に、棒立ちのままセリフは言わない。衣装も凝る。まるで映画監督差ながらの指導です。生徒だけでは配役が足らず親まで借り出されました。分校の劇はとても好評でした。

他に思い出すのは春夏秋冬。四季折々の山菜や昆虫採集、野山の草花の観察、川遊び、そり遊びやスキー。自然の中から多くのことを学



片馬合分校（昭和57年度）

んだ。先生達は私達が知らない昆虫や野草に関して広い知識を持っていた。また、学校の近所の人が死んだ小鳥を見つけて持ってくる、はく製の作り方まで教えてくれた。私の分校時代は毎日が驚きと発見でわくわくでした。振り返ると教室で勉強した記憶があまりありません。これって「ゆとり教育？」すると、四十年以上も前に時代の最先端を歩んでいたことになります。さて？ゆとり教育の成果はいかに！今の自分を見ると・・・

五年生からは本校に通った。同級生、上級生、下級生が一度に増えて環境ががらりと変化し、不安もあったが担任の先生が分校の時と同じ先生だったので力強かった。

一番辛かったのは何ととっても通学だ。雨の日も風の日も雪の日も自転車で八キロの砂利道を通った。砂利道だからよくパンクした。真冬は寒さで凍えた。睫毛や髪の毛も凍った。雪が降り積もると、タイヤと泥除けの間に雪がたまって蹴り落としながら自転車を走らせた。寒くて辛くて泣いたこともあった。今はスクールバスがあつて羨ましい。しかし、こんな経験もいい思い出です。

思い出は尽きませんが在校生、卒業生、そして地域住民の心の中より所であると共に思いの詰まった学校との別れには大変寂しいものがあります。これまで子供達と先生方そしてご家族や地域全体で築き上げた伝統はこれからも引き継がれていくことでしよう。そして、これからも、がんばれ萩野っ子！

萩野国民学校

佐藤小弥太

私が萩野小学校へ入学したのは、昭和十五年四月である。翌十六年十二月には太平洋戦争がはじまる。(大東亜戦争)

校名も萩野国民学校となる。物の統制がはじまり、物不足になって

くる。ランドセルなどはなく、古い遠足用のリュックサックまたは、風呂敷がランドセルがわりであった。

四年生になると女の先生が多くなり、それも代教の先生で、体罰が多くなる。竹の棒で頭を叩く、耳を引っ張って廊下や、職員室の前に立たせる。これをすぎると今度は、二宮金次郎の像の前に立たせる。暗くなり、おふくろが迎えに来て、ようやく帰される。私も何度体験したか。

食糧増産がさげばれ、春から麦ふみ、いも畑へ行つてんとう虫とり、上片馬合へ行つて、山から道路まで炭俵を背負い運び出す。これは本当に雪もなり、辛かった。いなごとり、落穂ひろい、桑の木の皮とり、五年生になると益々作業が多くなる。

兵隊に行っている家へ行つて、農作業の手伝い。春は田植、田の草とり、秋は稲刈と藤渡戸、末野、下在と何日行ったことか。帰りは暗くなり、皆で軍歌をうたつて帰つて来た。

この頃校庭の隅に炭焼小屋がつくられて五、六年生は山から丸太を二、三本背負い炭焼小屋まで運んでくる仕事。冬は教室で、放課後皆で縄ないである。

昭和二十年、六年生になる。国が本土決戦を決める。グラマンF4Fが飛んでくる様になり、有壁駅が銃撃され一人が死亡する。学校では裏山へ避難の訓練がはじまる。第二小学校の生徒と合同で本土決戦への教練がはじまる。竹槍をもってアメリカ兵を一人殺すのだと・・・赤と白の旗をつくらされて、手旗信号の訓練。放課後、校庭で毎日である。次は実際に遠く離れて訓練をやることになった。

八月十五日、暑い夏の日戦争は終わった。校名も再び萩野小学校となる。

伪かされ、叩かれ、立たされた思い出は山ほどあるが、たのしい思い出は一つもない。九九算を言えないまま、六年生を終えた生徒が二人ほどいた。

悪い戦争があつても 悪い平和はない。



俺と子供たちの萩野小学校

佐藤 弘一

今回百有余年の萩野小学校の歴史に幕が下ろされることと聞き大変残念に思います。

私が萩野小学校を卒業したのは約四十年前の昭和四十九年三月のことです。私たち三十四名（男子二十三名・女子十一名）が昭和四十三年四月から六年間を過ごした学び舎は、もちろん現在の建物とは違い木造二階建てで体育館も隣接する公民館の講堂を兼用していました。古びた木の香り、床のきしむ音、冬場のだるまストーブ等々が昔懐かしく思い出されます。昔のアルバムを引っ張り出して見たら、ほっぺを赤くした田舎っぺ集団そのものです。今の子供たちには見られない表情だと思います。

私自身が子供の頃の思い出としてあるものは、時が経ち頭の中に薄つすらと記憶に残っているくらいになってきました。五年の塩釜・松島と六年の福島・会津への修学旅行。三年か四年までは一等賞だった運動会。校庭にあった二本の大木を利用した陣取り合戦やめんこ（牛乳の蓋を活用したのを覚えてます）遊び。四年か五年頃だったと思いますがプールが出来たことなど楽しい思い出もある反面、苦い思い出ももちろんありました。二年か三年の時だったと思いますが、先生に叱られてバケツを持って廊下に立たされたこと（理由は思い出せませんが）は今でも鮮明に覚えています。今となっては良き思い出に。

私たちの時代は、先生は怖い存在だったような気がします。今の先生方は生徒にだけ目を向けられる環境でなくなっている気がしてきてちよつと気の毒な気がします。

私には子供三人おりますが、子供は現在の小学校にお世話になりました。むしろ親として関わった十三年間の方がたくさんの思い出を作ってくれました。三度の入学式に卒業式、運動会、学年行事、感謝

祭（もちつき）、学習発表会、PTA役員、スポーツ少年団（萩野小イーグルス）等々、いろいろな場面でいろいろな立場で携わらせて頂いたことで子供と一緒に私自身も成長させてもらった気がします。そんな語りつくせないくらいの思い出を作ってもらった萩野小学校が無くなるのは、この上ない寂しさを感じます。時代の流れではないのでしょうか。

最後に、「ありがとう俺の萩野小学校、ありがとう子供たちの萩野小学校」

萩野小学校の思い出

伊藤 利美

私が、萩野小学校に最初に御世話になったのは、昭和四十七年からの六年間で、当時は壁に触るととげが刺さるような古い木造校舎でした。放課後になると「手つなぎ鬼」や「キックベース」をして遊び、とにかく校庭を走り回っていたのを覚えています。

しかし、一番の思い出は何と言っても六年生の修学旅行です。町内五つの小学校が合同で福島の会津若松方面へ行きました。私たち萩野小は津久毛小と同じバスになり、初めは名前も知らずになかなか話せませんでしたが、磐梯山や鶴ヶ城、白虎隊で有名な飯盛山等いろいろな観光地を回っている間にどんどん仲良くなり、帰りのバスの中では、まるで六年間一緒に過ごしてきた同級生のようにふざけあっていました。この修学旅行のおかげでその後中学校に入学した時も友達がすぐに来たのを覚えています。しかしその後、合同修学旅行がなくなり学校単位での旅行になったと聞いたときは少し残念に思いました。

それから約二十年後、今度はPTAとして再び御世話になりました。校舎は新しくなりましたが、至るところに見覚えのある物があり、懐かしく感じました。しかし、時代の流れと共に変わっていたところ



学校行事キャンプ

もあり、まず館山児童会がなくなっていました。当時は児童会の会長・副会長がいて全校集会の進行や、七夕会の飾り付けや合唱も児童会でやっていたように記憶しています。体育館の壁に館山児童会の歌詞だけが残っていて少し寂しくなりました。

それから、保護者がクラス役員になって行う「学年行事」なるものがありました。初めは何をすれば良いのか分からずに苦労しましたが、慣れてくると次第に面白くなり竹馬作りや陶芸教室、ソリ滑りなど行いました。高学年ではキャンプや芋煮会、親子遠足等、担任の先生は大変だったと思いますが、多い時は年四〜五回行いました。最初の頃は面倒くさいと思っていたのですが、「どうせやるなら楽しくやろう」と考えるようになり、徐々に回数が増えていきました。又、それに同調するように、親同士も一緒になって楽しみ仲良くなっていたのが何より嬉しかったです。

こうして娘二人と一緒に九年間お世話になりました。振り返ると学校行事やPTA、子供会など一年を通して色々な行事がありました。日々でしたが、楽しく充実した時間を過ごすことが出来ました。

今年度で閉校することになり寂しく大変残念です。百四十一年間地域と共に子供達を見守り、育てて来た『萩野小学校』。長い間お疲れ様でした。そしてありがとうございます。

閉校に寄せて

山田 彰

もともと別の学区で育ってきた私が、今の場所に来たのは平成四年の冬、二十二歳の頃でした。その時には、まだ小学校のこととかは分かる筈もなく、ただ日常を過ごしていましたが、その後、子供が生まれ、育ち、幼稚

園に入るころには、小学校のことについて周囲の人たちから色々なことを教えていただきました。そんなこともあり、何の心配もなく小学校に娘を入学させるとともに、私はPTAに入会する運びとなりました。その時には児童数も約八十人と今よりも多く運動会や学習発表会では大きな歓声と拍手が響いていたのが印象に残っています。

PTA活動については、行事等があるたびにお父さん方が一生懸命動いていたのが最初の印象でした。その様な光景を見たこともあり、また、自分が子供たちのために何かが出来ることが嬉しく思えるようになり、子供たち以上に小学校の活動にのめり込んでいきました。その為かどうかはわかりませんが、半分騙されPTA役員になり、しいには会長まで経験させていただきました。

萩野小学校には三人の娘たちがお世話になりました。いつの時代も先生方や保護者の方々に協力を頂きながら、また、娘に冷たい目で見られようが、それを楽しんで小学校生活を娘たちと一緒に過ごさせていただきました。学校行事の運動会や学習発表会はもちろんですが、学年行事や子供会での活動もいっぱい思い出が残っています。特に子供会では夏の親子旅行が毎年の楽しみでした。みんなで遠くまで行き、日中は外で遊び、夜は大人数での夕食、そしてカラオケなどで子供も大人もみんなで楽しく過ごした思い出があります。大人たちは夜遅くまで懇談して次の日調子悪くなる人もいました・・・

萩野小学校が出来たころは百年先も、また、そのさらに百年先へも学校を繋いでいくと思っていたはずですが、しかし、世の中は清流が激流となるように、ものすごい勢いで変わってしまい、その時代の流れの中で萩野小学校も閉校という目を迎えることとなります。しかし、萩野小学校で過ごした思い出は、私がそうであったように、子供たちが大人になっても忘れることができない一生の思い出です。

子供たちが過ごした小学校がなくなることはすごく寂しいことです。今まで一緒に過ごさせていただいた学校とお世話になったすべての人に感謝したいと思います。「ありがとうございます」



閉校に寄せて

佐藤 裕介

私が今年で閉校となってしまふ萩野小学校を卒業して十三年になり、年月が経つのは早いなとあらためて思います。

萩野小学校が閉校になってしまふと聞いたときには、少し寂しいものがあり、小学校時代にいろいろな事をして、笑ったり、泣いたり、怒ったりと沢山の思い出があったと思います。

小学校では、朝とお昼休みの時間に晴れた日には、グラウンドでキックベース、サッカー、かくれんぼ、雨の日は体育館で手打ち野球、バスケ、ボールなどをして、放課後や休日は、スポーツ少年団の野球チームに入っていたので、練習と試合を沢山した記憶があり、大会にも出て、多くの賞状やトロフィーを貰いました。その頃に貰った賞状やトロフィーなどは、今でもいくつかは自宅に飾ってあり、見るたびに懐かしく思います。

ちなみに、野球は小学校で始めたのがきっかけで、中学、高校でも野球部に入部し、社会人になった今でも、草野球ではありますが、続けて楽しくやっています。何回かは挫折しそうになった事もありましたが、**今思えば辞めないで続けていて良かったと思っています。**



イーグルス 数々の栄光

授業もいろいろやったのを思い出します。理科での実験では、いたずらで裏山で拾ってきた唐辛子のような物をアルコールランプで熱し、目がすごく痛くなり皆で水道で目を必死になって洗った事や、ザリガニ釣りに行って、何人かと池に落ちてしまい、プールのシャワーで体を洗ったり。今でも謎なのが、一時期学校でちょっとしたある事件が起こる事があり、それが金曜日に起こっていたので、魔の金曜事件などと言っていました。今でもその事は謎な為、その頃で一番不思議な出来事だったと思います。

他にも子供会、学年行事、学校行事があり、キャンプ、バーベキュー、花火、運動会、学習発表会、芋煮会、餅つき、縄跳び、修学旅行、鼓笛隊など他にも多くの行事がありました。その内の六年生での最後の運動会が雨で体育館でやった記憶がありました。詳しく親に聞くと、当日は雨が降っていたため体育館でやっていたらしいのですが、雨が止んできたので、せっかく練習してきたのだからという事で、親達がグラウンド整備をして、徒競走やリレーなどをやったそうです。

それ以外にも書ききれないほどの思い出があり、楽しい時や学んだりした学校ですので、いつまでも残って欲しい気持ちで残念です。私は卒業したのが萩野小学校で良かったと思います。



寄せ書き

六年生	71
五年生	70
四年生	69
三年生	68
二年生	67
一年生	66
在校生より		
中学校二年生より		
教職員より		





「ありがとう萩野小学校」

教職員より



教頭 岩崎 薫

萩野小学校校歌に「明日の世の日本にふた葉のいのち伸ばそうよ」という歌詞があります。夢と希望に満ちた子どもたちの姿が強く心に残ります。萩野小学校に感謝です。

教務主任 富田 利昭

閉校後しばらくすると、学校が地域のコミュニティセンターの役割を果たしていたことに、改めて気づくそうです。今後も萩野地区のつながりが続くことを願っています。

第一学年担任 小野寺 永子

素直で明るい子どもたちと温かく協力的な保護者と出会い、豊かな自然と歴史に育まれた萩野小学校は、私にとつて忘れられない勤務校となった。萩野小ありがとう。

第二学年担任 鈴木 真木子

萩野小学校の最後の年に、お世話になりました。二年生の生活科の学習で九人の子どもたちと有壁の「町のたから」をたくさん探せたことが、一番の思い出です。

第三学年担任 遊佐 素子

鼓笛隊で三年生が、リコーダーの下のドから上のミまでしっかりと演奏できることに感心しました。揃いのTシャツを着て演奏しながら歩いた秋の交通安全パレードは圧巻でした。

第四学年担任 高橋 裕明

初めて学級担任をさせていただいた萩野小学校。元気で、明るい子どもたちと切磋琢磨してきました。新鮮な毎日をありがとう、萩野小学校。

第五学年担任 上沖 豊文

素直で明るくて、何事にも一生懸命な子どもたちと、充実した一年間を過ごすことができました。とても嬉しく思います。いつまでも子どもたちを応援していきます。

第六学年担任 沼倉 美恵子

思いがけない閉校を迎え残念でなりません。萩野小学校では、私自身いろいろな経験をさせてもらい充実した四年間を過ごせました。たくさんのおい出に感謝しております。

特別支援一組担任 熊谷 義行

講師として勤務した二十三年前、この地から教員となって仙台に向き、再びこの地に戻り教鞭がとれていることに、また、閉校に携われたことに、深い縁を感じます。

特別支援二組担任 小野寺 吉郎

何と言っても「三・一一」の大震災。二階からの避難、校庭での迎え待ちと不安。その後、一日で卒業式と修了式で閉じた二十二年度。忘れられない学校です。

特別支援二組担任 遊佐 奈緒

萩野小で過ごした六か月間が、とても楽しい思い出として心に残っています。萩野小はなくなりませんが、みんなの心の中にあり続けるでしょう。萩野小学校最高！

主幹兼事務長 高橋 徳一

百四十一年の歴史ある萩野小学校で、四年間勤務させて頂き有り難うございました。萩小つこの良いところを新生金成小学校で発揮し益々活躍される事を願っています。

代替養護教諭 再名生 愛恵

萩野小学校の元気な子どもたちと過ごすことができ、楽しい一年になりました。ありがとうございました。子どもたちの健やかな成長と活躍を心から願っております。

主任業務員 菅原 かつみ

三年前に初めての学校勤務となり大変貴重な今までにない経験をしたという思い出があります。地域の皆さんに、お世話になり、ありがとうございました。



思い出 中学1年生

学年行事や、萩小の感謝祭、萩野小学校ですごした日はとても楽しかったですが、小学校がなくなるのはとても寂しいです。

小学校、六年間いろいろなことがあった毎日でした。母校の萩野小が終わるのがとても悲しいです。萩野小ありがとうございました。さようなら。

小学木交のころケンカしたり笑ったりいろいろな思い出を作った萩野小。母校が閉校してしまうのがとても寂しいです。

萩野小学校では楽しかった思い出がたくさんあります。ケンカしたり笑ったりみんなで作った思い出が、萩野小が閉校してしまうのがとても寂しいです。

萩野小学校は、いろいろな楽しい行事もあり楽しい思い出がたくさんあります。なくなるのはとても悲しいです。今まで、ありがとうございました。

萩野小学校は六年間みんなとすごした場所。母校なのでなくなるのはとても寂しいです。これまでもありがとうございました。

小学校で、みんなと六年間すごしてきた場所でした。小学校で笑ったり泣いたりして楽しかった。今まで、ありがとうございました。

小学校のころいろいろな友達とあそんでいたのがとても楽しかったです。

六年間、10人ですごした時間。その小学校は今でも忘れません。この学校ですごした10人の仲間たち、ずっと忘れません。ありがとうございました。

萩野小学校で笑ったり泣いたりケンカした日々。10人の仲間たち、一生忘れません！



萩野小の思い出
二年生

わたしは、2年生の時七夕までねかいごを書きました。わたしは、おひめさまになりたいのでと書きました。

せいかわかのけんきょうで、あまがわにこせなとりあみをゆけました。おおきなハヤが、あみにはよっていたので、すごくうれしかったです。

2年生の時に町たんけんをしました。ありまかんは、しせんにたわわでいてまきストーブのりんごもごちそうになってすくうれしかったです。

2年生の時に馬車系統のげきをやりました。わたしは、がまくんのやくと、ナレーターをやりました。やらちゃんにセリフを教えてくださいました。

わたしは、1年生の時プールで、マヨネーズのからよきの中に氷を入れてみんなで氷かけをしたことが思い出です。

ぼくは、1年生の時交通あんぜんパレードをしました。T=0 2年の時は、大ホカマンをもち、うれしかったです。

わたしは、1年生のげき「ねこにすずをつけちゃった」で、女の子のやくでした。まほちゃん、まほみちゃん、みさきちゃん、みかちゃん、と5人でやっていたのが良かったです。

1年生の時、学校たんけんをしました。わたしが調べたところは、音楽室です。いっぱいがきがあったからです。グランドピアノが大好きです。

ぼくは、1年生の時雪がせんをしました。ぼくは、りゅうとくんにあてて、りゅうとくんが雪うすけんにあててそやて、ぐるぐるまわるよにあててあそびました。



萩野小の思い出 三年生

私は、3年生の秋の交通安全カードで、萩野小学校をスタートして、リコーダーをふきながらいろいろなところを歩きました。途中でつねにけいけんぼうとうと思ひました。歩いているときに、行進で足をもうえるのがむづかしかったです。

私は、3年生になつたらムックロールとセシキをかきまきうになつた。ムックロールはゆきのうたといふよに練習しました。セシキは練習して、2人で泳ぐおにやりました。セシキは先生に教えてもらつた。セシキは先生に教えてもらつた。セシキは先生に教えてもらつた。

ぼくのはぎの小学校での一番の思い出は、3年生の遠足で「おみやげ屋」や「山台」や「科学館」で「おみやげ」を作りました。おみやげは、おみやげです。最後は、おみやげに行つて「おみやげ」をしました。ぼくは、おみやげに「おみやげ」をしました。

一番の思い出は、今年の春の運動会です。リズムダンスで「学園天国」をおどりました。2年生でやり終えたとき、走りは2人で少しづつしかつたけれど楽しかったです。はぎ野小学校とよならするのぼさみいです。

去年の学芸会は「猫に鈴をぶらした」でした。私はおみやげで、取っかかした。本番の時は声を出して安心しました。ダンスの「フライングゲット」は楽しくて夢中で踊りました。最後の学芸会は楽しかったです。

ぼくのはぎの小学校での一番の思い出は、3年生の学年行事です。さわりやバーベキューをしました。バーベキューはおいしかったです。おみやげは、おみやげです。おみやげは、おみやげです。

私は、1年生の時の「アリババ」というけいけんぼうが楽しかったです。私は、おみやげです。おみやげは、おみやげです。おみやげは、おみやげです。おみやげは、おみやげです。

はじめプールに入ったときは、おみやげです。おみやげは、おみやげです。おみやげは、おみやげです。おみやげは、おみやげです。おみやげは、おみやげです。

ぼくのはぎの小学校で一番の思い出は、2年生の時の「おみやげ」です。おみやげは、おみやげです。おみやげは、おみやげです。おみやげは、おみやげです。

私は、2年生の時の萩小、子感しさいが楽しかったです。ホーリングコーナーでは、私は2本しかたおせなかつたのに、おみやげは、6本たおせなかつた。また、おみやげは、おみやげです。おみやげは、おみやげです。

ぼくの一巻の思い出は、3年生の学年行事で「さわりや」をしたことです。川に魚が泳いでいるのを見つけたので、おみやげをしました。おみやげは、おみやげです。おみやげは、おみやげです。



萩野小の思い出 四年生

わたしの一番の思い出は、みんなとコテージに行ったことです。はじめてみんなと暮らすことになってとても楽しみでした。コテージではゲームなどいろいろ楽しいことをして、夜みんながねていてもずっと朝まで起きてました。今まで本当にありがとうございました。

1年生の時プール開きで6年生のお兄さんお姉さんにとらこしてもらってうれしかったことが思い出です。ありがとう萩野小学校

ぼくが一番の思い出は、三年生の学習発表会で、すくすくは、じいちゃん、やぐで、は、ずがしか、たけどうまくできました。萩野小学校がありがとう。

わたしの一番の思い出は、萩野小学校に転校してきたことです。わたしとお姉ちゃんが自己紹介をしてくれました。萩野小学校がありがとうございました。

私の一番の思い出は、3年生の時の社会見学で、大くぼがまに行きました。いろいろな物が作れて、いいなあと思いました。萩野小学校14年間ありがとうございました。

ぼくが一番の思い出は、4年生の行事でコテージに泊ったことです。やき肉や、たまりアストロマンに行きました。小中一貫校になりました。7か年ぶり、萩野小学校14周年、ありがとう。

わたしはこの4年間で、一番楽しかった事は、三年生の時の遠足です。せんだい市科学館に行きました。小中一貫校に行っても萩野小学校のことをわすれません。

私は四年生のときにあった交通安全パレードが思い出です。わすれたところもあつたけど楽しかったです。萩野小学校14年間、みんなを見守ってくれてありがとうございました。

ぼくは、三年生の時の社会科見学が大くぼがまに行きました。ぼくがいろいろな工作が、あつたし工作も見せてもらいました。いままでありがとう萩野小学校

一番楽しかったことは、生筆の活動です。きつのかご作りをしたことです。作った中、夏のかごで、花とか、きりぎりすや、金魚を作るのが楽しかったです。また作りたいです。

わたしの小学校生活で一番の思い出は、一年生の時の入学式です。入場して、大きなはく手でむかえられ、後ろには、笑ったお母さんたちがいまして、あの時の入学式の事は、お忘れられません。萩野小学校14年間ありがとう

わたしが一番心にのこっている事は、四年生の学年行事です。夜はみんなでおたまりゲームをしたりしたことが楽しかったです。今までありがとう萩野小学校



萩野小の思い出 五年生



<p>花山に行って、ナイトハイクをしました。とてもよかったけど、グループの友達とはげまし合ってゴールを目指しました。ゴールした時は、とてもうれしかったです。いい思い出になりました。</p>	<p>萩小っこ感謝祭では、ストラックアウトの受付をしました。大変な仕事だったけど、みんなの笑顔が見られたのでよかったです。新しい学校でも友達と協力していきたいです。</p>
<p>1・2年生の時、町探検で萩野酒造や有馬川の生き物を調べました。お酒を造るために、一日中倉庫の中で、長い時間働かなければならないので大変だと思いました。有馬川では、ナマズを見つけました。</p>	<p>陸上競技大会では、女子800mに出場しました。5位に入賞しました。すごくうれしかったです。あきらめないことが大切だと感じました。これからもあきらめずに努力したいと思います。</p>
<p>金成地区水泳大会では、自由形50mで1位、背泳ぎ25mで3位に入賞しました。夏休み中の練習を休まずにがんばったからだと思います。これからもいろいろなことに挑戦していこうと思います。</p>	<p>4年生に行った仙台市科学館で、とてもいいにおいがする香水を作ったり、友達と一緒にシャボン玉の中に入ったりしました。面白かったので何度もくり返し遊びました。また、行きたいです。</p>
<p>学年行事で、パレットおおさきに行き、プラネタリウムで星座を見ました。夏の大三角形、オリオン座などを見ました。家に帰ってからもお父さんと一緒に星座を見ました。とてもきれいでした。</p>	<p>バタ足がしっかりできるようになり、今年の金成地区水泳大会では、オープンの部で2位に入りました。去年は3位だったので、とてもうれしかったです。友達への応援もがんばりました。</p>
<p>花山の「沢遊び」で、友達と一緒に岩から飛び降りたり、おいしいお弁当を食べたりしました。「キャンドルサービス」のスタントも上手にできました。友達となかよく活動できたのでよかったです。</p>	<p>今年の運動会は、応援合戦をがんばりました。ポンポンを振りながら大きな声で応援をしました。ワッショイ金成では、自分たちで考えた最後のポーズがばっちりきまりました。うれしかったです。</p>



萩野小の思い出 六年生

萩野小で学んで6年、楽しかったりつらかったりしたことがたくさんありますが、今年がんばった水泳が思い出に残っています。昨年までぼくは、25Mしか泳げませんでした。でも今年は50Mに挑戦しました。最初は、つらくてにげだしたくなかったけれど、練習して泳げるようになったときはうれしかったです。これからは中学校なので何事にも挑戦していきたいです。

ぼくが萩野小に入学したとき、姉は4年生でした。ぼくの家は遠いのでバス通学でした。バスで通うのはとても楽しかったです。特にバスの中で先輩とゲームの話をするのがとても楽しい時間でした。バスをおりてから学校までの道のりは、つい立ち止まって話をしてしまい、おそくなることがたくさんありました。今年、ぼくは6年生として下級生のめんどうをみながら通うことができました。6年間楽しかったです。

6年間この学校で過ごして一番心に残った行事は音楽祭です。初めてピアノ伴奏したのは5年生でした。そして今年も伴奏することになりました。それに今年は2曲もやることになり、練習がとても大変でした。友達と毎日音楽室に行き練習をたくさんやりました。放課後は先生に教えてもらいました。きれいな歌になるように練習をしっかりと本番を成功させたいです。

この小学校で6年間過ごして心に残ったことは、たった6人だったけど、みんながとても優しく楽しくていいクラスだったことです。男子は太陽君と憂斗君。二人とも、とてもにぎやかでおもしろい人でした。女子は4人で歩美ちゃん、瑞希ちゃん、春花ちゃんそして私です。いろいろなお話をしたりみんなと遊んだり楽しい毎日でした。またこのクラスでいっしょにやれたらいいです。

萩野小学校で学んだ6年間で一番心に残ったのは、秋の陸上大会です。練習は朝と放課後の毎日2回でリレーのタイムを計ったりして大変でした。個人の走り幅跳びは、踏み切り板を使って練習しました。本番では3m17cmを跳んで5位でした。とてもうれしかったです。

これまでいろいろやってきていろんなことに挑戦できてよかったと思います。これからも進んでいろいろなことに挑戦したいと思います。

6年間この学校で過ごしてきて、私が一番心に残ったことは鼓笛パレードです。2年生の時はリコーダーから始まり、4年生になって鍵盤ハーモニカになりました。5年生の後半から、私は指揮者に選ばれました。最初は腕立てふせから始まり、腕の力もついてきて、練習用の指揮棒で練習をしました。そのあと本物の指揮棒で演奏しました。今年初めて鼓笛パレードの先頭に立って演奏することができました。指揮者としてパレードできたことは私の一番の思い出です。

思い出の
アルバム



卒業写真 (大正4年)



卒業写真 (大正2年)



卒業写真 (大正7年)



卒業写真 (大正10年)



卒業写真 (大正5年)



千田指導員



高等科卒業生 (昭和9年)



尋常科卒業生 (昭和9年)



仙盛間地下ケーブル工事作業（昭和11年）

寄附契約證 寫
 宮城縣立郡立萩野高等小學校
 右 仙盛間高等小學校高等小學校學林地ト寄附契約致候間後日 烏紫約證左左候也
 天約條件左之如シ
 一 天約地ハ學枝一系生寄附金ニテ植林セシメ
 一 天約地 樹木ハ將來學校増築又ハ改築場
 一 使用スルベシ
 一 又約地 樹木ハ他ニ他封シ流用スルベシ
 一 却巻地統一場合イト
 シテ統一ニ入ラセシメス
 一 追々登記ヲ行フ
 昭和三十二年三月明治節記念
 附記
 一 右有原巴會ニ於決定
 一 高橋校長時代萩野
 萩野小學校校長
 男子部青年學生林桂往
 共同勤勞作業 安島地
 昭和十一年五月二七、二八、二九日
 出席人員八五名
 仙盛間地下ケーブル工事
 作業
 全五拾五圓貳拾五錢受領
 萩野村青年學校基金人全島成
 校長 高橋理一郎
 指導員 石川千田小岩
 専任員 家 武智
 理事員 一系社トシテ勤勞
 振興ニ進出化 作業化

寄附契約證（昭和10年）



記念撮影（昭和11年）



尋常科卒業生（昭和11年）



職員一同（昭和11年）



高等科卒業生（昭和11年）



五十嵐視学委員視察記念男子部（昭和12年）



五十嵐視学委員視察記念女子部（昭和12年）



高等科卒業生 (昭和13年)



尋常科卒業生 (昭和12年)



高等科卒業生 (昭和16年)



職員一同 (昭和14年)



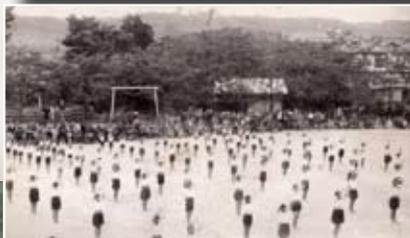
運動会開会式



男子成年團ノ三千米徒競争



高等科卒業生 (昭和17年)



女兒ノ音律体操



修学旅行 (昭和30年代)



卒業写真 (昭和28年)



河北新報社見学



修学旅行 (昭和31年度)



航空写真 (昭和48年)



かるたとり大会 (昭和56年度)



清掃活動 (昭和56年度)



民謡を楽しむ会 (昭和55年度)



新旧校舎



収穫感謝祭（昭和56年度）



一人一鉢運動（昭和56年）



善行表彰（昭和56年度）



秋季大運動会（昭和56年度）



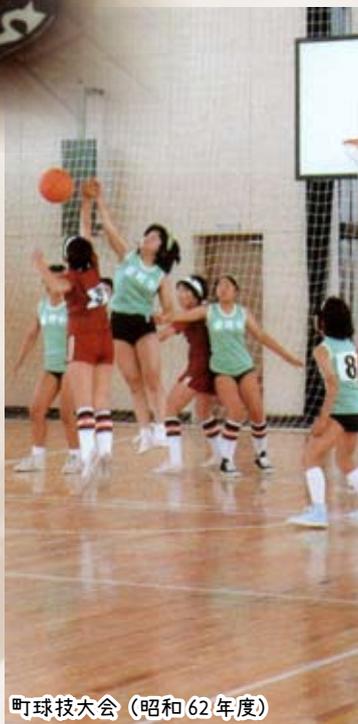
七夕祭り(昭和57年度)



秋季大運動会(昭和56年度)



萩野酒造見学(平成2年度)



町球技大会(昭和62年度)



町球技大会(昭和62年度)



第42回栗原郡小中学校音楽祭(昭和63年度)



運動会(平成4年度)



洋上体験乗船(平成4年度)



学年PTA (平成11年度)

大わんこそば大会 (平成14年度)



七夕祭り (平成9年度)



会食会 (平成8年度)



運動会 (平成9年度)



リンゴ狩り (平成16年度)



学年PTA 栗駒キャンプ (平成12年度)



6年生を送る会 (平成17年度)



交通安全パレード (平成19年度)



修学旅行 (平成19年度)



運動会 (平成21年度)



地区水泳大会 (平成20年度)

第8回栗原市小中学校音楽祭



第8回栗原市小中学校音楽祭



学芸会(平成22年度)



学習発表会劇「キツネはだれだ」



社会学習消防署見学



平成二十六年三月、萩野小学校は、百四十一年の歴史に幕を下ろすこととなります。萩野小学校はなくなりますが、この校舎で学び、縁あつてこの学舎に関わつた大勢の方々、そして地域の方々にとって「萩野小学校」は、いつまでも心に生き続けることでしょう。

今回、閉校を迎えるにあたり、実行委員会の設立と推進にご尽力されたPTAの方々や各行政区長様、地域の方々の熱い思いが一つに結集していく様子を、微力ながら側でかかわる機会をいただきました。記念誌への寄稿、記念碑への賛同、記念事業への協力等に対して、惜しまず背中を後押しする保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様方の素晴らしさを目の当たりすることができました。さらに、伊藤浩之部長を中心とした記念誌編集部の皆様方が編集作業を計画的に進められていました。寄せられた原稿には、地域や学校を愛する強い思いがいたるところにちりばめられ、写真の一枚一枚からは、当時の学校の様子を垣間見られる貴重な内容になっています。

地域の皆様には、これからも子どもたちの成長を見守り励ましていただき、子どもたちには、萩野小学校のよき伝統を受け継ぎ、新生金成小・中学校の歴史に新しい一歩をしっかりと刻んでくれることを願っています。

あとがき

栗原市立萩野小学校 教頭 岩崎 薫



栗原市立萩野小学校閉校記念誌

発刊 平成26年3月

発行 栗原市立萩野小学校閉校記念事業実行委員会